国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

電子納品物検査支援システム
Ver.4.0

システム操作説明書

平成 25 年　3 月

国土交通省　国土技術政策総合研究所

【注意事項】

★Windows XP、Windows Vista、Windows 7 の基本操作について

この操作説明書は、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 の利用者環境で作成しており、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 の基本的な操作については、理解いただいていることを前提としております。Windows XP、Windows Vista、Windows 7 の操作については各操作説明書を参照して下さい。

【その他】

★このシステム及び操作説明書を使用することによって生じる損害等については、一切責任を負いかねます。

★この操作説明書の内容は事前の予告なしに変更される場合があります。

★このシステムの仕様は事前の予告なしに変更される場合があります。

★本ソフトウェアの CAD チェック機能には「SXF 共通ライブラリ」を使用しています。

目　次

1 電子納品物検査支援システムの概要

1.1 システムの基本機能

本システムは、電子納品媒体が国土交通省の電子納品要領・基準（案）および地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品運用ガイドライン（案）に沿って作成されているかをチェックし、媒体内容を表示するシステムです。

表 1-1 機能一覧

カテゴリ	主な機能
閲覧機能	ツリー構造表示機能
	書類名の日本語表示とソート機能
	詳細表示機能
	オリジナルファイル一覧選択表示機能
	オリジナルファイル表示機能
チェック機能	XML構成チェック
	オリジナルファイル存在チェック
	要素内容チェック （禁則文字チェック、必須入力チェック、ファイルの実在チェック、ネーミングルールチェック、連番チェック、CADファイルチェック）
	上記チェックをフォルダごとに実施する機能

1.2 チェック対象要領（案）等

本システムでは、電子納品物が下記に示す電子納品要領・基準類に準拠して作成されているかどうかをチェックします。

・工事完成図書の電子納品要領（案）	平成 16 年 6 月
・　　　〃	平成 20 年 5 月
・工事完成図書の電子納品等要領	平成 22 年 9 月
・工事完成図書の電子納品要領（案）電気通信設備編	平成 16 年 6 月
・工事完成図書の電子納品等要領　電気通信設備編	平成 22 年 9 月
・工事完成図書の電子納品要領（案）機械設備工事編	平成 18 年 3 月
・土木設計業務等の電子納品要領（案）	平成 16 年 6 月
・　　　〃	平成 20 年 5 月
・土木設計業務等の電子納品要領（案）電気通信設備編	平成 16 年 6 月
・土木設計業務等の電子納品等要領　電気通信設備編	平成 22 年 9 月
・土木設計業務等の電子納品要領（案）機械設備工事編	平成 18 年 3 月
・ＣＡＤ製図基準（案）	平成 16 年 6 月
・　　　〃	平成 20 年 5 月
・ＣＡＤ図面作成要領（案）	平成 17 年 3 月
・ＣＡＤ製図基準（案）電気通信設備編	平成 16 年 6 月
・ＣＡＤ製図基準　電気通信設備編	平成 22 年 9 月
・ＣＡＤ製図基準（案）機械設備工事編	平成 18 年 3 月
・デジタル写真管理情報基準（案）	平成 16 年 6 月
・　　　〃	平成 18 年 1 月
・　　　〃	平成 20 年 5 月
・デジタル写真管理情報基準	平成 22 年 9 月
・測量成果電子納品要領（案）	平成 16 年 3 月
・　　　〃	平成 20 年 12 月
・地質・土質調査成果電子納品要領（案）	平成 16 年 6 月
・　　　〃	平成 20 年 12 月

・地方整備局（港湾空港関係）の事業における
　電子納品運用ガイドライン（案）【業務編】　平成 22 年 5 月
・地方整備局（港湾空港関係）の事業における
　電子納品運用ガイドライン（案）【工事編】　平成 22 年 5 月
・地方整備局（港湾空港関係）の事業における
　電子納品等運用ガイドライン【工事編】　平成 23 年 3 月
・地方整備局（港湾空港関係）の事業における
　電子納品運用ガイドライン（案）【資料編】　平成 18 年 3 月
・　〃　平成 20 年 7 月
・地方整備局（港湾空港関係）の事業における
　電子納品等運用ガイドライン【資料編】　平成 23 年 3 月

1.3 システムの動作環境

本システムの必要な動作環境は、以下になります。

表 1-2 動作環境

OS	Windows XP SP3 Windows Vista SP2 Windows7 SP1 (32 ビット版/64 ビット版)
CPU/メモリ	OSが推奨する環境以上
ハードディスク空き容量	読み込み電子納品媒体の容量以上
周辺機器	CD-ROMドライブ
ソフト	Microsoft .NET Framework 2.0 以降 Microsoft Visual C++ 2005 再頒布可能パッケージ* Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ*

*)未インストールの場合、本システムインストール時にインストールされます。

2 電子納品物検査支援システムのインストール

2.1 インストールプログラムの起動

電子納品物検査支援システムを「港湾 CALS」ページ(http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/)からダウンロードします。ダウンロードしたファイルを解凍すると**図 2-1** のような「Install.exe」ファイルが生成されます。

Install.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。

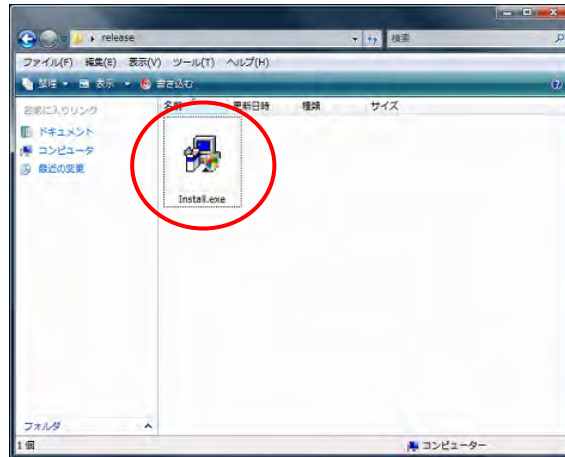



図 2-1 セットアップファイルの実行

※WindowsVista/7 の場合、ユーザアカウント制御（Vista の場合は**図 2-2**）が表示される場合があります。その場合は［許可(A)］(Windows7 の場合は[はい]) をクリックして処理を進めてください。

図 2-2 ユーザアカウント制御

2.2 VisualC++2005 ラインタイムライブラリのインストール

セットアップが開始されると、最初に VisualC++2005 のインストールを求めるメッセージが表示されますので、［インストール］ボタンをクリックし、VisualC++2005 をインストールします。

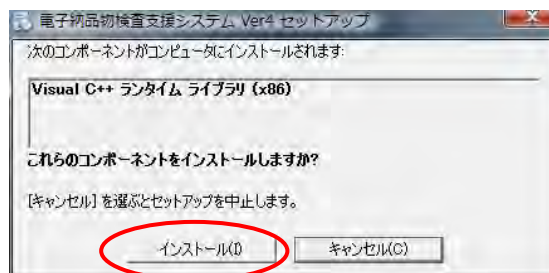



図 2-3 VisualC++2005 インストール

※【.NET Framework(バージョン 2.0 以降)がインストールされていない場合】

電子納品物検査支援システムでは、.NET Framework（バージョン 2.0 以降）が必要です。

.NET Framework がインストールされていない場合は、以下のメッセージが表示されます。

電子納品物検査支援システム Ver4

このセットアップは.NET Frameworkが必要です。バージョン2.0以上の.NET Frameworkをインストールしてから再度実行してください。

OK

電子納品物検査支援システム Ver4

インストールは未完了です。

電子納品物検査支援システム Ver4 のインストール中にインストーラが中断されました。再度実行するためにインストーラを再起動する必要があります。

終了するには[閉じる]をクリックしてください。

閉じる(C)

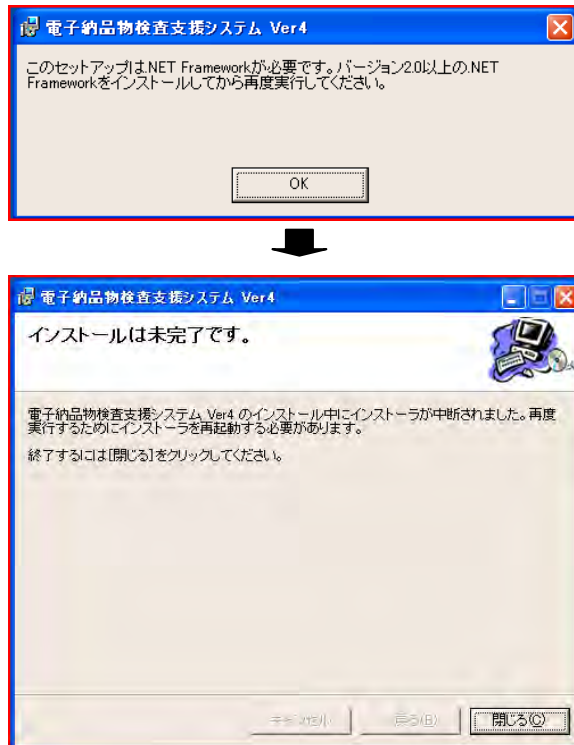



図 2-4.NET Framework が未インストールの場合

［OK］→［閉じる］でセットアップを一旦終了し、

「《巻末資料》.NET Framework3.5 インストール手順」を参考に.NET Framework3.5 をインストールしてから、再度電子納品物検査支援システムのセットアップを実行してください。

2.3 「電子納品物検査支援システム」のインストール

VisualC++2005 のインストールが完了すると電子納品物検査支援システムのインストールが始まります。［次へ］ボタンをクリックします。

電子納品物検査支援システム Ver4

電子納品物検査支援システム Ver4 セットアップ ウィザードへようこそ

インストーラは 電子納品物検査支援システム Ver4 をインストールするために必要な手順を示します。

この製品は、著作権に関する法律および国際条約により保護されています。この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を頒布すると、著作権の侵害となりますのでご注意ください。

キャンセル　戻る(B)　次へ(N) >

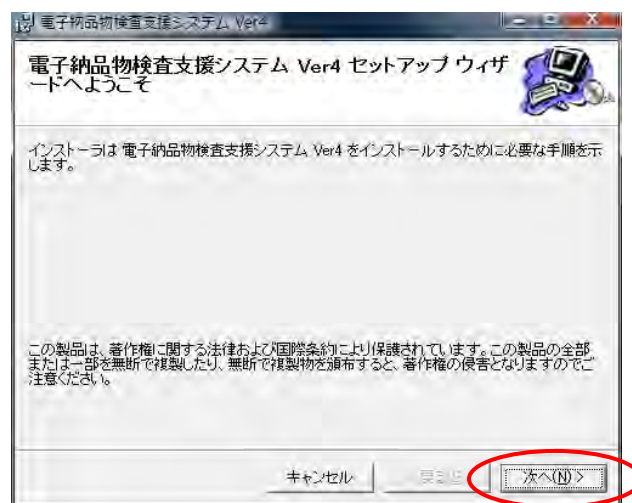



図 2-5 インストール開始

2.3.1 インストール先の指定

インストール先指定画面（図 2-6）が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。

※セットアップ先を変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてセットアップ先ディレクトリを変更してください。

※ディスクの空き容量を確認したい場合は［ディスク領域］ボタンをクリックしてください。

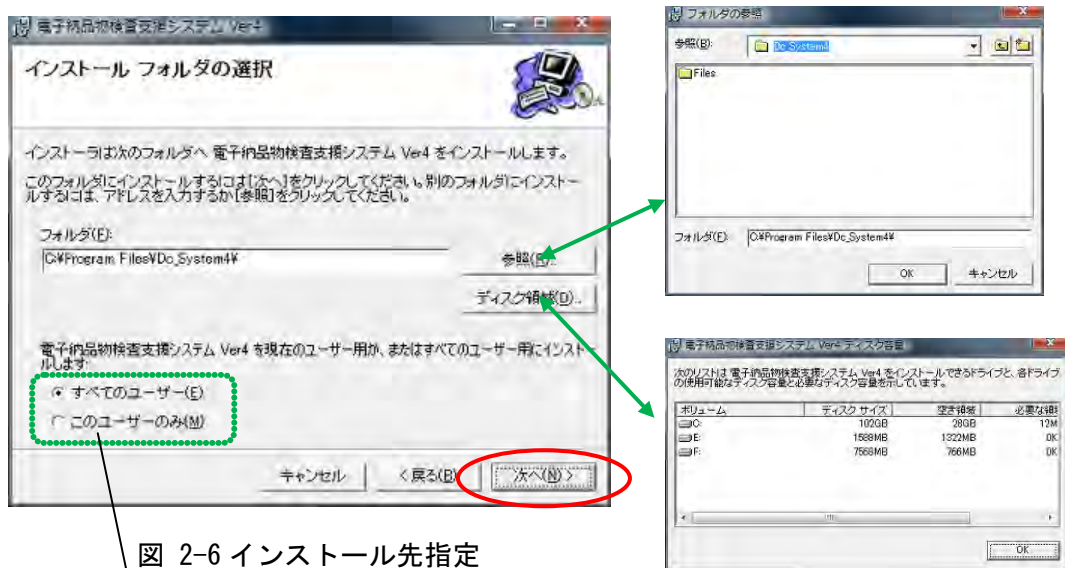



図 2-6 インストール先指定

［すべてのユーザ］
１台のパソコンを複数のユーザアカウントでログインされる場合にはこちらを選択します。
［このユーザのみ］
現在ログインされているユーザアカウントでのみ利用される場合はこちらを選択します。

2.3.2 インストールの確認

以下の画面が表示されます。セットアップを継続するには、［次へ］ボタンをクリックします。

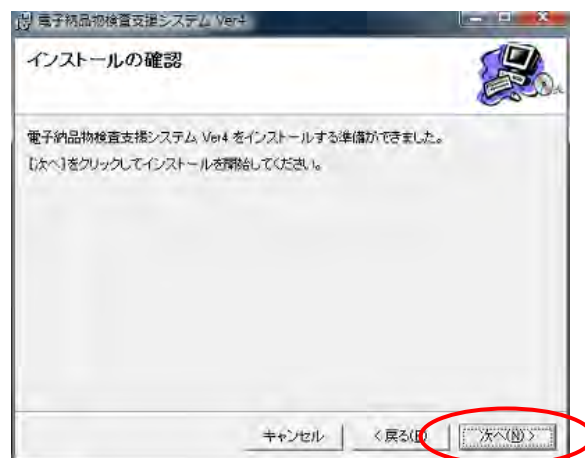



図 2-7 インストールの確認

2.3.3 インストールの開始

セットアップが開始されます。

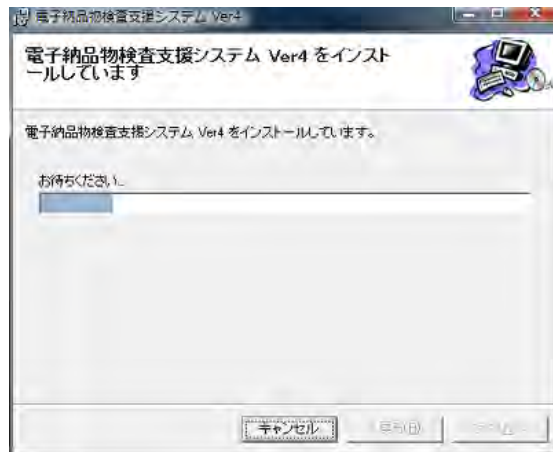



図 2-8 インストール中

【Visual C++ 2008 Redistributeable がインストールされていない場合】
2.3.4～2.3.7 の追加セットアップが開始されます。

2.3.4 Visual C++ 2008 ランタイムライブラリのインストール

以下の画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。
※図 2-13 のウィンドウの下に隠れている場合がありますのでご注意ください。

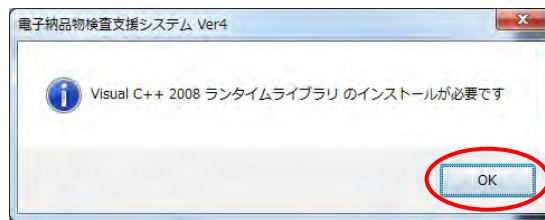



図 2-9 VC++2008 インストール

2.3.5 Visual C++ 2008 Redistributable セットアップ開始

以下の画面が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。

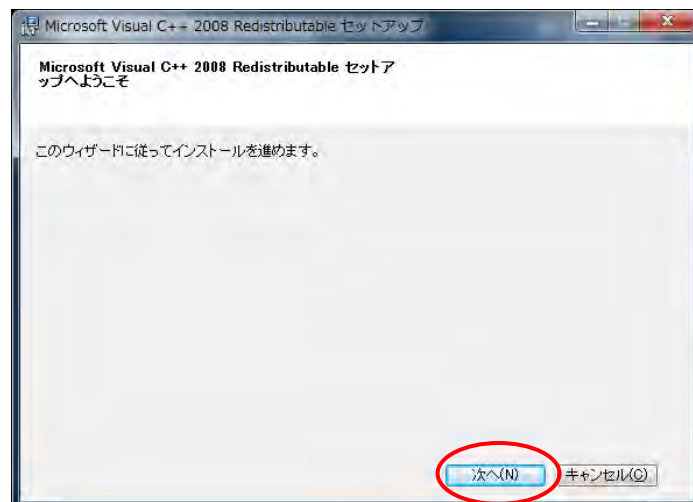



図 2-10 Visual C++ 2008 Redistributable セットアップ

2.3.6 インストールの完了

以下の画面が表示されますので、ライセンス条項を読み、[同意する] にチェックを付けて、[インストール] ボタンをクリックします。

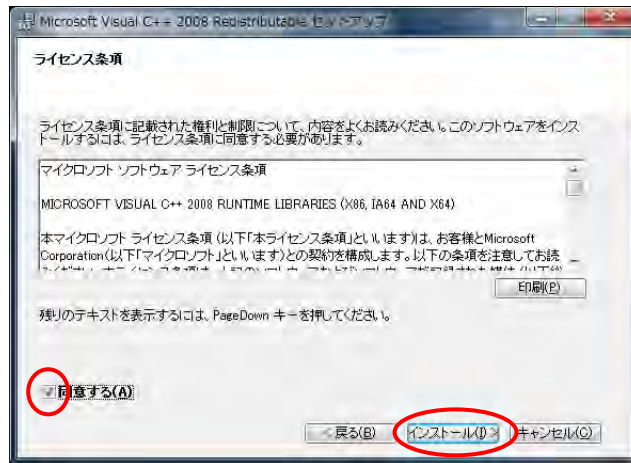



図 2-11 ライセンス条項確認

2.3.7 インストールの完了

セットアップが終了したらセットアップ完了画面が表示されますので、［完了］ボタンをクリックして下さい。

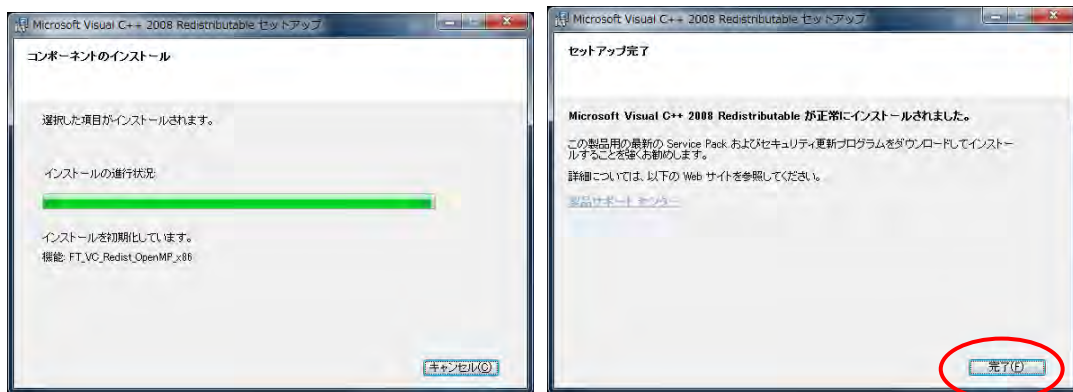



図 2-12 VC++2008 セットアップ完了

2.3.8 インストールの完了

セットアップが終了したら以下の画面が表示されますので、［閉じる］ボタンをクリックして下さい。

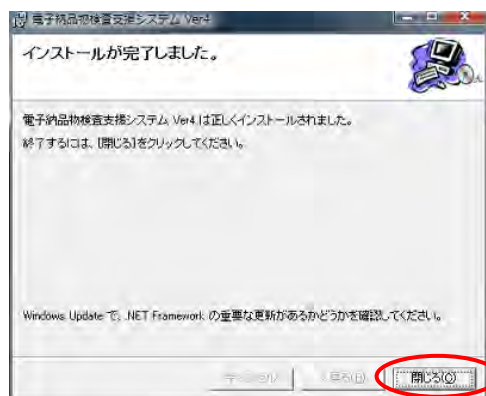



図 2-13 インストール完了

2.3.9 システム利用開始

デスクトップ上に「電子納品物検査支援システム Ver4」のアイコンが作成されます。
ダブルクリックするとシステムが起動します。

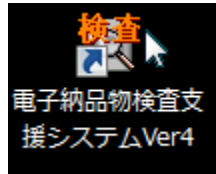



図 2-14 検査支援システム Ver.4 のアイコン

3 電子納品物検査支援システムのアンインストール

インストール済みの「**電子納品物検査支援システム Ver4**」を削除する手順です。

(1) コントロールパネルから「プログラムと機能」(XP は「プログラムの追加と削除」)を起動します。

(2) **図 3-1 プログラムと機能**が表示されますので、「**電子納品物検査支援システム Ver4**」を選択し、[アンインストール] をクリックします。

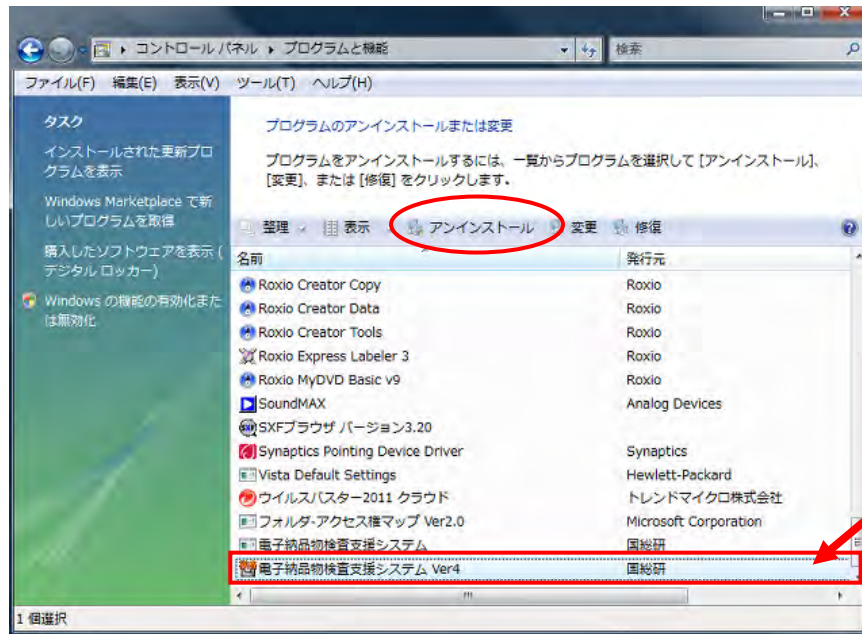



図 3-1 プログラムと機能

(3) 以下の画面が表示されます。アンインストールを継続するには、[はい] ボタンをクリックして下さい。

図 3-2 アンインストール確認

(4) 削除作業の時には下図に示す画面が表示され、「プログラムと機能」(XP は「プログラムの追加と削除」)から「**電子納品物検査支援システム Ver4**」が削除されます。

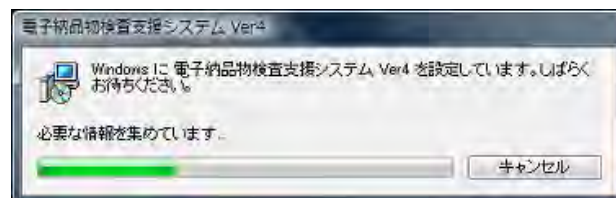



図 3-3 プログラム削除中

※WindowsVista/7 の場合、ユーザアカウント制御(P.3 の**図 2-2**)が表示される場合があります。その場合は[許可(A)](Windows7 の場合は[はい])をクリックして処理を進めて下さい。

4 電子納品物検査支援システム利用方法

4.1 画面フロー

電子納品物検査支援システムの画面フローを以下に示します。

システム起動

終了

システム終了

電子納品フォルダの選択

ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック

選択したフォルダから直接閲覧・チェック

適用基準の表示

チェック対象フォルダの選択

確認したいフォルダ、チェック項目のみチェックを入れます。（初期状態では全てを選択）

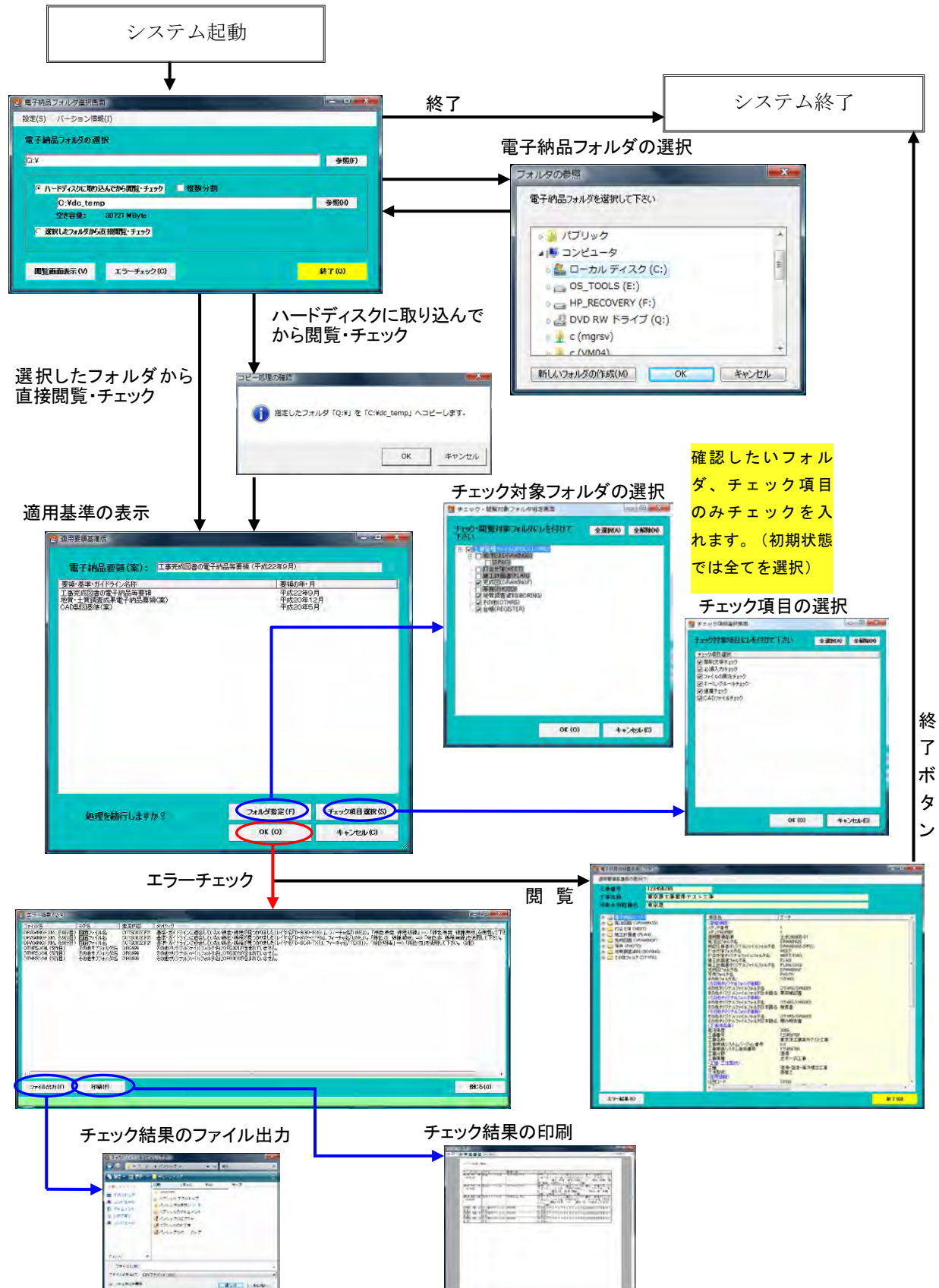
チェック項目の選択

終了ボタン

エラーチェック

閲覧

チェック結果のファイル出力

チェック結果の印刷

4.2 操作方法

4.2.1 電子納品フォルダ選択画面

(1) 電子納品物検査支援システムを起動すると、電子納品フォルダ選択画面が表示されます。

図 4-1 電子納品フォルダ選択画面

(2) 電子納品媒体（CD-R 等）をドライブ（CD-ROM ドライブ等）に挿入して、［参照(F)］ボタンをクリックし、ドライブを選択してください。

図 4-2 フォルダ選択

電子納品媒体がハードディスクに収められている場合は、工事管理ファイル、業務管理ファイル(INDEX_C(D,EC,ED,MC,MD).XML）があるフォルダを選択します。
なお、対象フォルダを上記ウィンドウ内にドラッグ＆ドロップしても指定可能です。

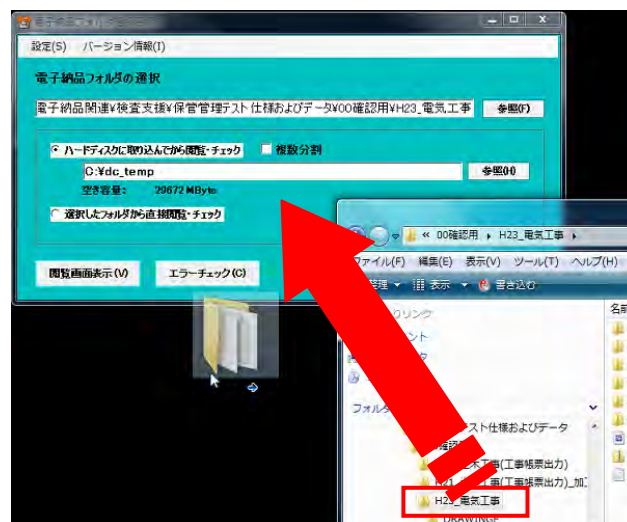



図 4-3 フォルダをドラッグ＆ドロップ

(3) 電子納品媒体の読み込み方法を選択します。

- ハードディスクに取り込む → (4) へ
  ※媒体が複数に分かれている場合はこちらを選択してください

- 直接読み込む → (5) へ

・**ハードディスクに取り込んだ場合、始めのファイルコピーに時間がかかりますが、閲覧時にオリジナルファイルを開く際の時間が短縮されます。** ・**直接読み込む場合、電子納品媒体は1枚のみ対象となります。** **電子納品媒体が複数枚の場合は、ハードディスクに取り込む方法を選択しください。**

(4) 「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」をクリックします（既定値）。
①取り込み先のフォルダは、既定値として「C:\dc_temp」が記載されています。
これを変更したい場合は、直接入力するか、［参照(H)］をクリックし、取り込み先フォルダを選択してください。［新しいフォルダの作成］で

新規にフォルダを作成することもできます。

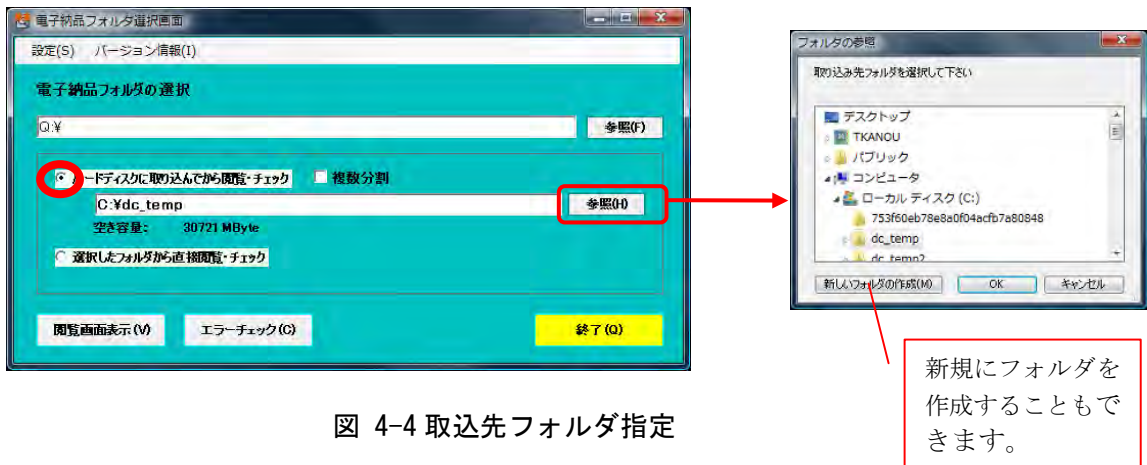



図 4-4 取込先フォルダ指定

【重要】
電子納品媒体が複数枚の場合は、［複数分割］にチェックをしてください。
これにより、1枚目読み込み後に、2枚目の選択ウィンドウが表示されます。

図 4-5 複数媒体の場合

②エラーチェックをせず、閲覧画面を表示する場合は、［閲覧画面表示(V)］
エラーチェックを行った後に閲覧画面を表示する場合は［エラーチェック(C)］をクリックします。

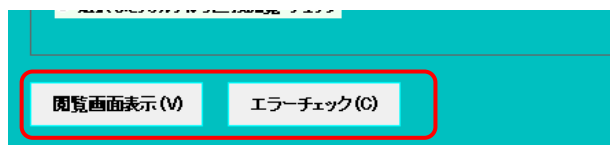



図 4-6 閲覧・エラーチェック選択

コピー処理の確認画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

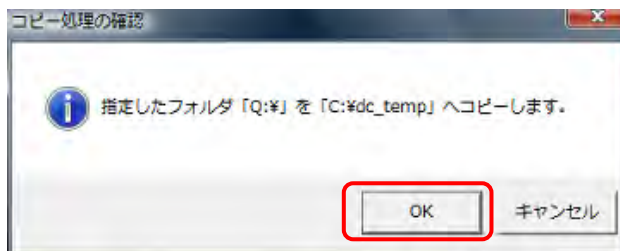



図 4-7 コピー処理開始

電子納品媒体の取り込みが開始されます。

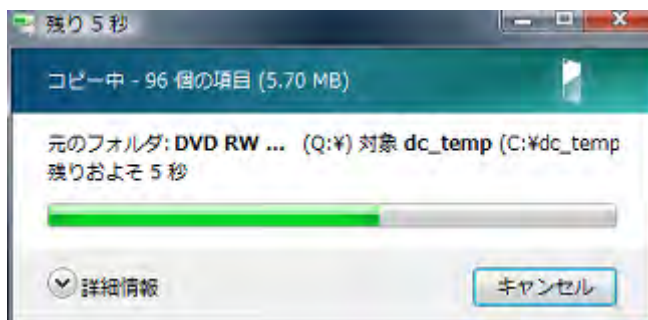



図 4-8 ファイル取り込み

【重要】

［複数分割］にチェックした場合は、1枚目のメディア指定画面が出ます。参照先がよろしければそのまま[OK]を、違っている場合は、参照先を変更してから[OK]をクリックします。

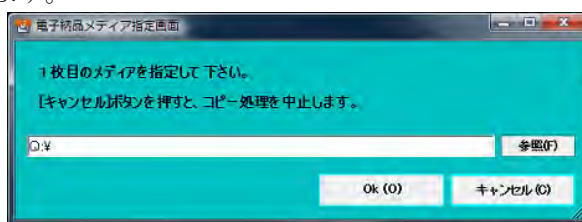



図 4-9 メディア指定画面

2枚目以降も同様に参照先を聞いてきますので、指定します。

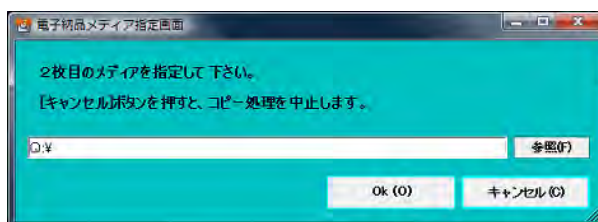



図 4-10 メディア指定画面　2枚目

【重要】

取り込み先フォルダに既にデータがあった場合は、下図のようなウィンドウが出ますので、以下のいずれかを選択してください。

・取り込み先にあるデータを使う　→［いいえ］
・取り込み先を削除してコピーする→［はい］
・取り込みを中止する　　　　　　→［キャンセル］

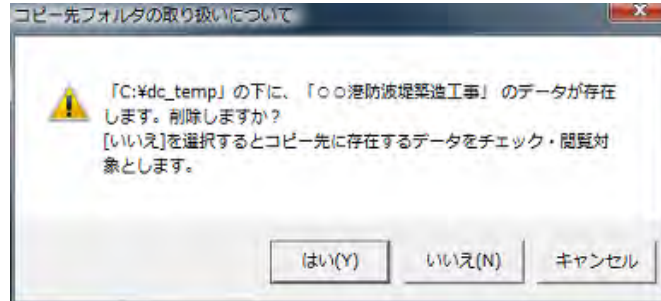



図 4-11 取り込み先にデータがあった場合

③読み込みが完了すると、適用要領基準版の確認画面になります　→４．２．２へ

(5) 「選択したフォルダから直接閲覧・チェック」をクリックします。

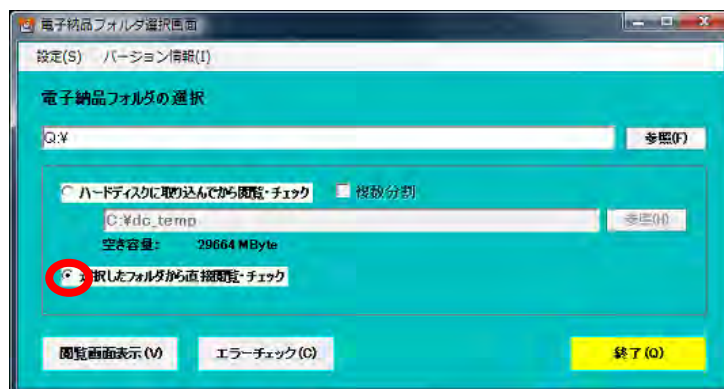



図 4-12 直接閲覧・チェック

エラーチェックをせず、閲覧画面を表示する場合は、［閲覧画面表示(V)］
エラーチェックを行った後に閲覧画面を表示する場合は［エラーチェック(C)］をクリックします。

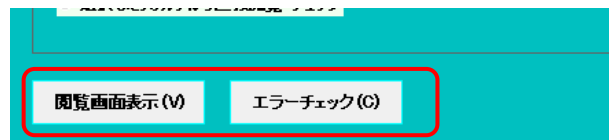



図 4-13 閲覧・エラーチェック選択

読み込みが完了すると、適用要領基準版の確認画面になります　→４．２．２へ

4.2.2 チェック対象フォルダの選択

完成された電子納品物だけでなく、電子納品要領に規定された各フォルダと管理ファイルのチェックを個別に実施できます。

利用場面として、発注者から提供する工事管理ファイルや発注図フォルダの内容が正しいかどうかのチェック等を想定しています。

また、時間のかかる CAD のチェックを 2 回目のチェック時に省略するといった使い方もできます。

(1) 電子納品物全体のチェックをする場合には、［OK］をクリックしてください。
→ 4.2.4 へ

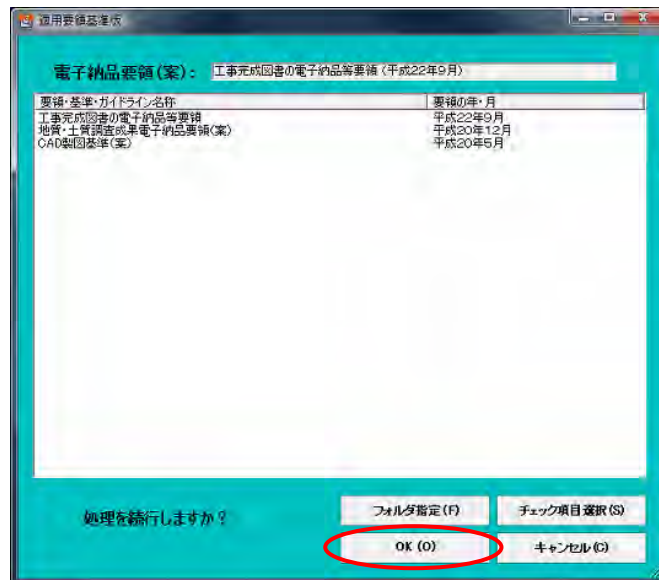



図 4-14 適用要領基準版画面

チェック、閲覧対象のフォルダを指定する場合は、［フォルダ指定(F)］ボタンをクリックします。 → (2) へ

チェック項目を指定する場合は、［チェック項目選択(S)］ボタンをクリックします。 → (3) へ

(2) チェックを実行する管理ファイル、フォルダを選択する画面が表示されます。
チェックを実施するフォルダ以外のチェックを外し［OK］をクリックしてください。
→ (1) 画面に戻ります

工事管理ファイルと打合せ簿フォルダのみをチェックする場合

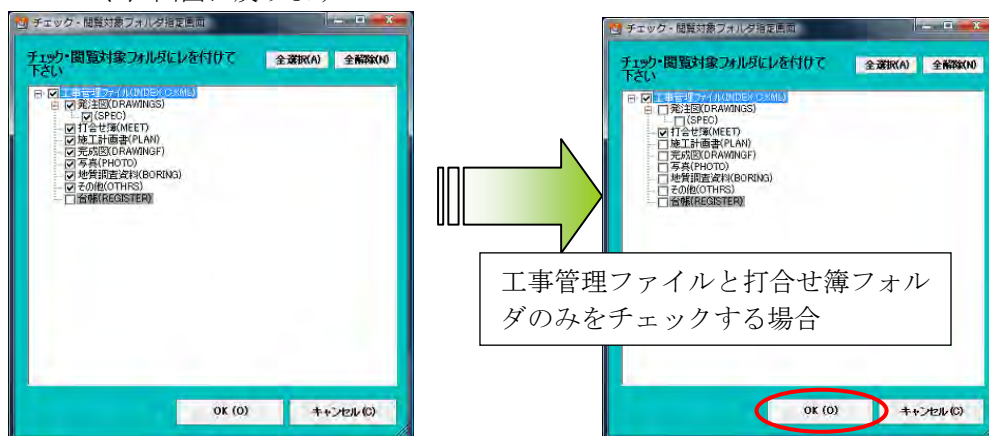



図 4-15 チェックフォルダ選択

※存在しないフォルダは、グレーアウト表示になり、選択できません。

(3) チェックする項目を選択する画面が表示されます。
チェックを除外する項目のチェックを外し［OK］をクリックしてください。
→　(1) 画面に戻ります

CAD ファイルのチェックを省略する場合

図 4-16 チェック項目選択

4.2.3 管理ファイル（INDEX_*(C,D,EC,ED,MC,MD).XML）が存在しない場合

発注者から提供された［発注図フォルダ］のみ、或いは工事帳票管理システムから出力された［打合せ簿フォルダ］のみを検査する場合には、工事管理ファイル（INDEX_C.XML 等）が存在しない事が想定されます。

その際には、任意に適用する電子納品要領を指定することによってチェックを実施できます。作業手順は以下のとおりです。

(1)管理ファイルが存在しない場合、下記メッセージが表示されます。

図 4-17 インデックスファイルが無いとき

(2)チェックに適用する電子納品要領をドロップダウンリストから選択します。

チェック対象フォルダを選択する画面が表示されますので、チェックを除外したいフォルダがある場合、対象フォルダの［レ］を外してください。

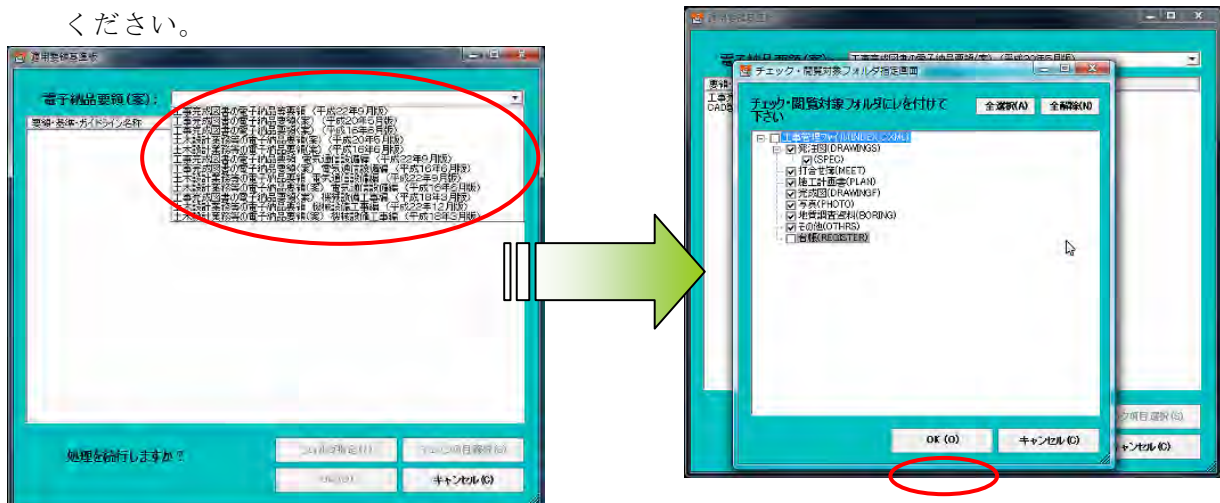



図 4-18 適用要領の選択

(3)チェック対象フォルダを選択後、［OK］をクリックすると適用要領基準一覧画面が表示されます。その際に、選択したフォルダに関わる電子納品要領・基準のみが一覧に表示され、検査に使用することを示します。

「発注図」フォルダを除外すると、
「CAD 製図基準(案)」が消えている

図 4-19 チェック対象フォルダ選択

適用要領基準一覧画面を確認後、［OK］をクリックするとチェックが始まります。

4.2.4 チェック処理

(1) エラーチェックが開始されると、エラー結果画面左下に進捗状況が表示されます。

ファイル出力(F)　印刷(P)

エラーチェック実行中　DRAWINGS (44/128)

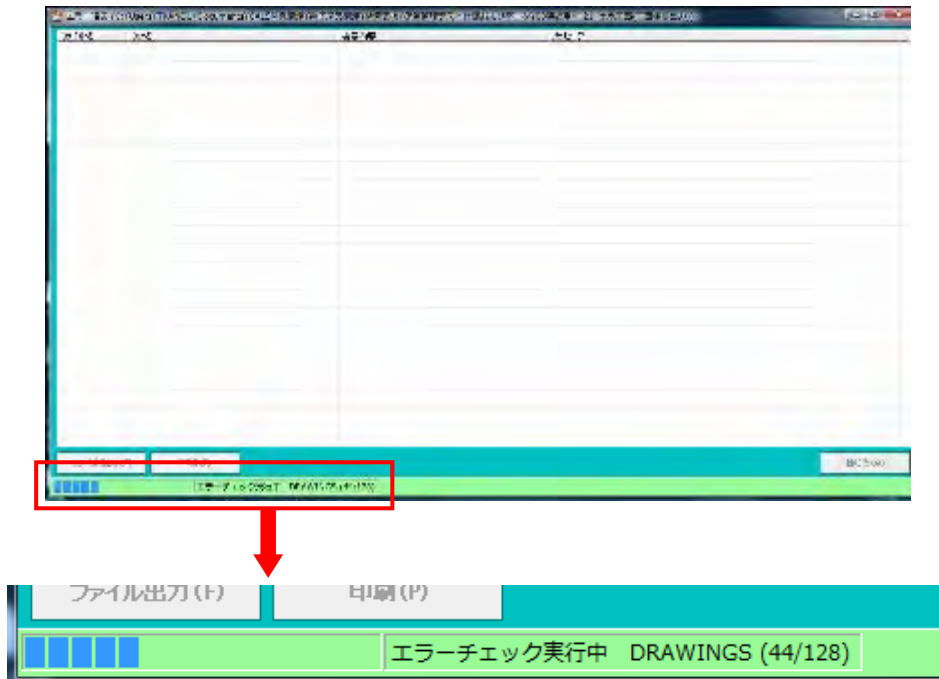



図 4-20 エラーチェック進捗

(2) エラーチェックが完了すると、チェック完了を知らせるウィンドウが表示されます。

エラーチェック完了

エラーチェックが完了しました。

OK

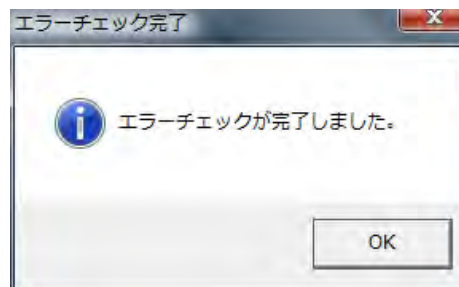



図 4-21 エラーチェック完了

チェック結果のウィンドウと、電子納品媒体の閲覧画面が表示されます。

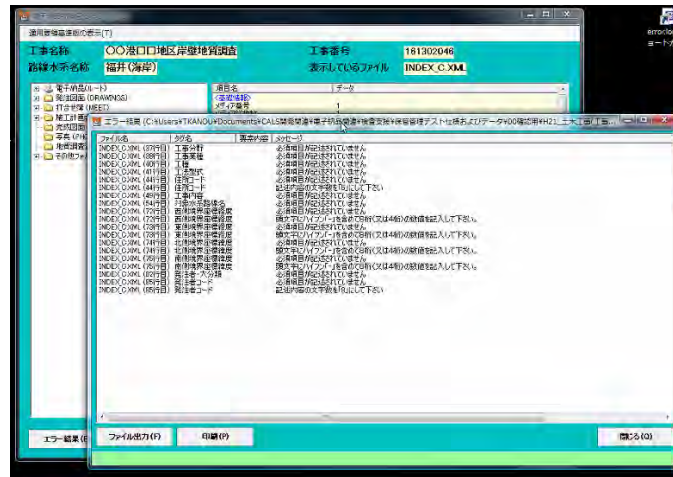



図 4-22 チェック結果と閲覧画面

4.2.5 エラー結果画面（管理ファイルエラー）

※エラー内容の対応方法は、「**5.5 その他の処理（エラー・警告・情報メッセージ）**」を参照願います。

(1) 管理ファイルエラーがある場合、以下の画面が表示されますのでエラー内容を確認してください。

（例 1）INDEX_C.XML の要素内容に誤りがある場合のエラー結果ダイアログ

図 4-4-23 XML ファイル要素内容エラー

（例 2）INDEX_C.XML の要素内容にＸＭＬ使用禁止文字等が使われているなどの理由によりＸＭＬファイルが読み込めない場合のエラー結果ダイアログ

図 4-4-24 XML ファイル読み込みエラー

(2) ［OK］ボタンをクリックし、電子納品物検査支援システムを終了してください。
該当するＸＭＬを修正してから再度電子納品物検査支援システムを起動してください。

4.2.6 エラー結果画面（要素内容エラー）

※エラー内容の対応方法は、「5 エラーメッセージ一覧表」を参照願います。

(1) 要素内容にエラーがある場合、エラー結果画面にその内容が表示されます。

（例 1）DRAWINGF.XML の図面ファイルの線色・線種に誤りがある場合のエラー結果ダイアログ

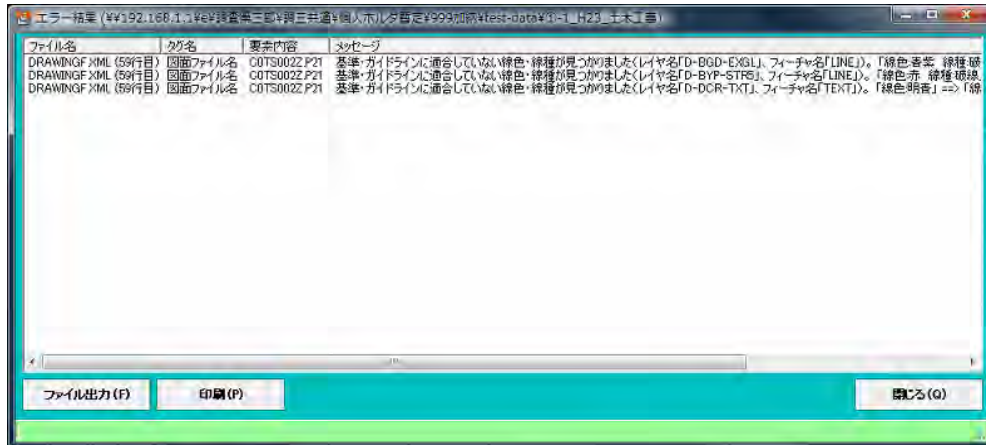



図 4-25 エラー結果

注）要素内容のチェックの場合、事前協議で取り決めた内容であるかどうかを確認してください。上記エラーのように事前協議で［WORK］レイヤの利用を取り決めている場合や該当するレイヤ設定が策定されていない構造物の場合等、エラーと扱ってはいけない場合もあります。

(2) エラー行をダブルクリックすると、閲覧画面上の対応する行が赤色表示になります。

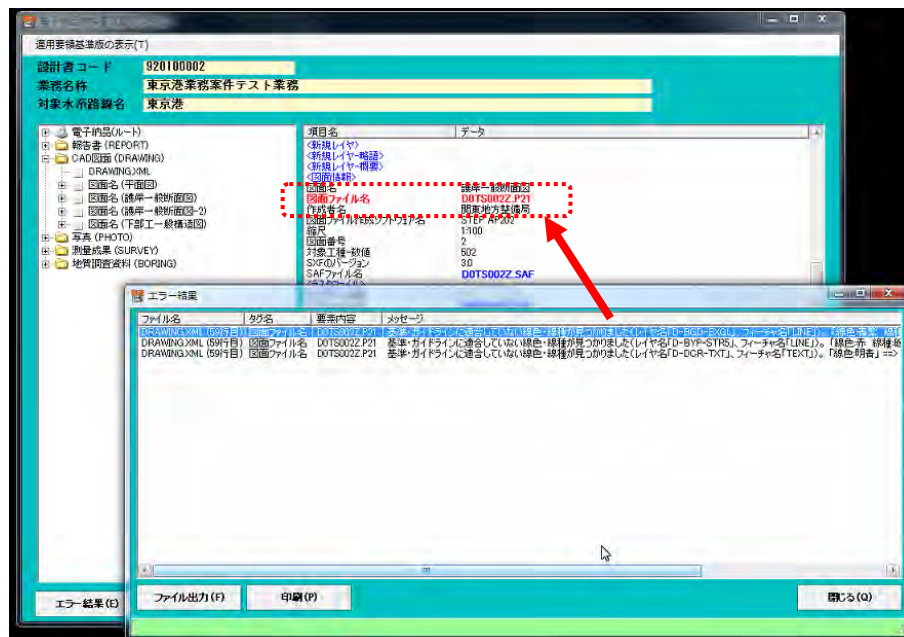



図 4-26 エラー行の表示

(3) 閉じるボタンを押すと、本画面が閉じて閲覧画面へ移動します。

4.3 エラー結果ファイル出力

エラー結果ダイアログの［ファイル出力］ボタンをクリックすると、エラー結果を CSV 形式でファイル出力できます。

出力された CSV ファイルは、Excel などで見やすい形で閲覧、加工することができます。

任意のファイル名を付けて［保存］をクリックして下さい。

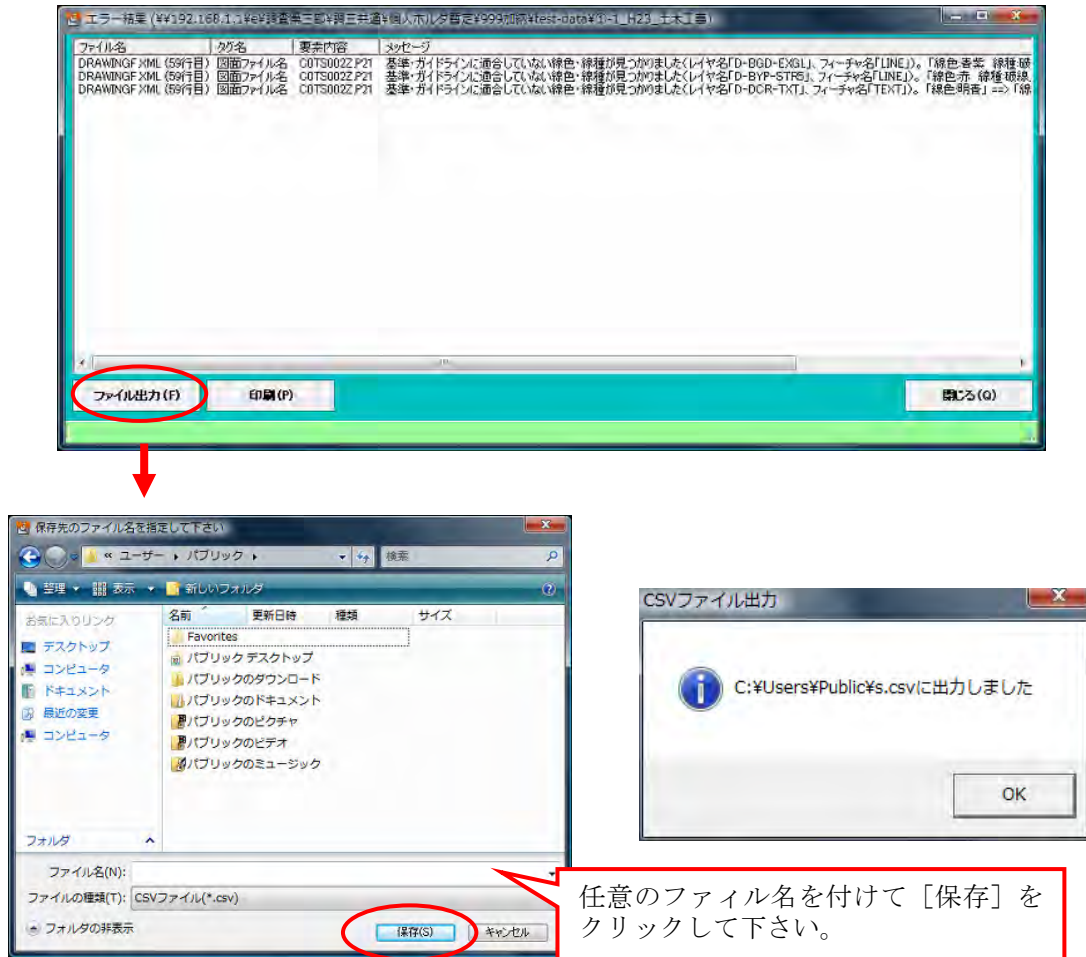



図 4-27 エラー結果ファイル出力

4.4 エラー結果印刷

エラー結果ダイアログの［印刷］ボタンをクリックすると、エラー結果印刷ダイアログが表示されます。

印刷する場合は、［印刷］ボタンをクリックしてください。

クリックして印刷

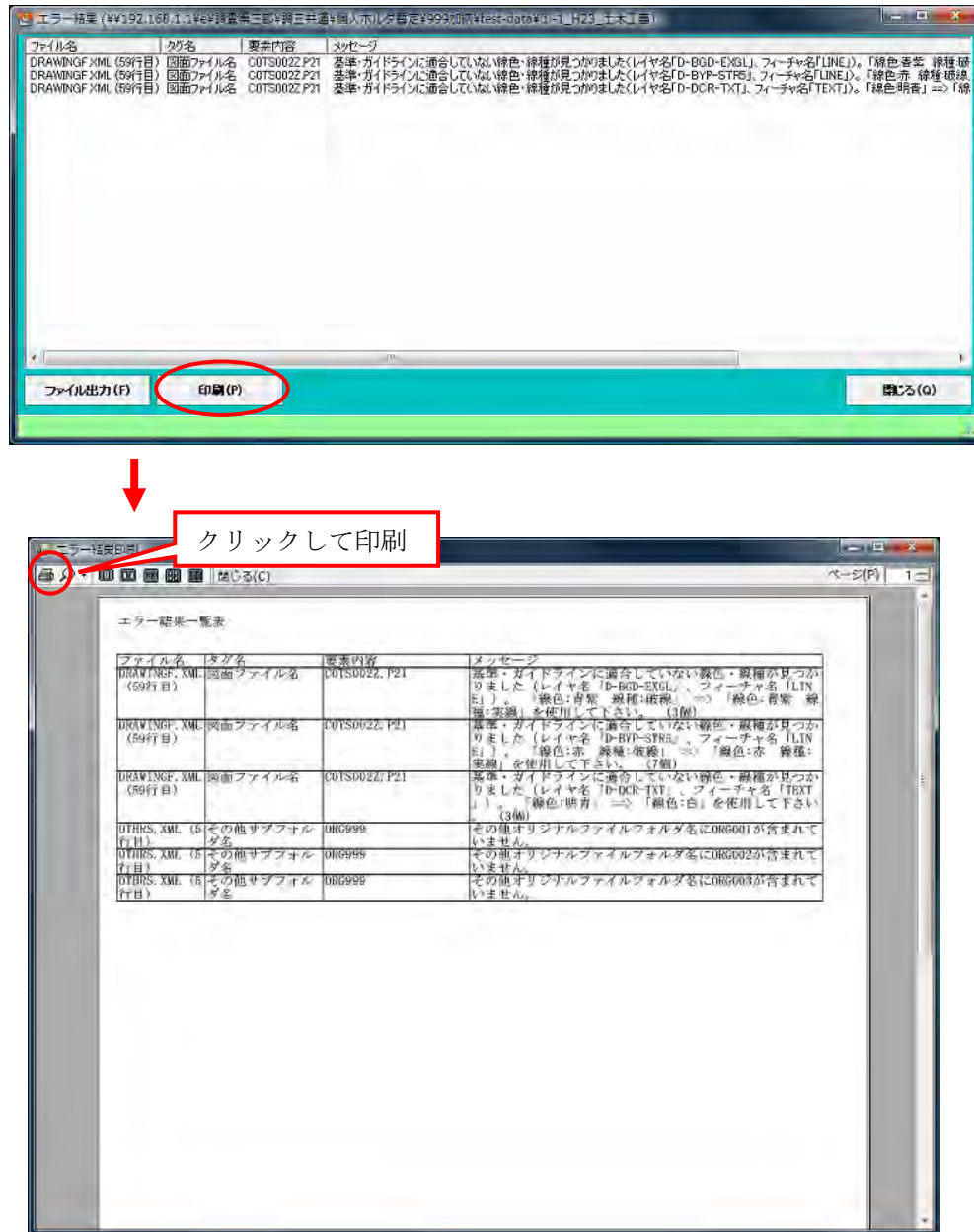



図 4-28 エラー結果印刷プレビュー

4.4.1 エラーがない電子納品物

エラーチェックの結果、エラーが１件もなかった場合は、以下の表示、印刷結果になります。

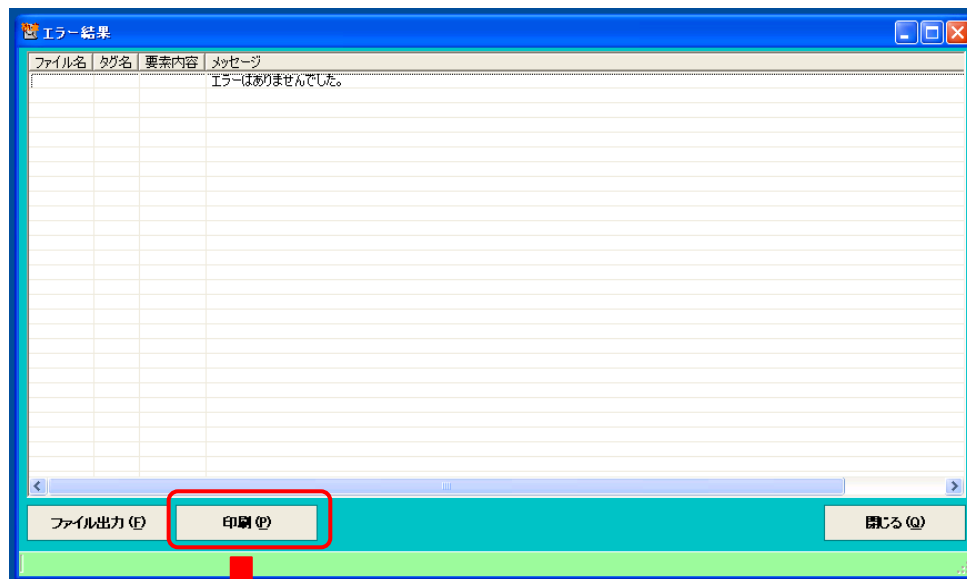



図 4-29 エラーなし（画面）

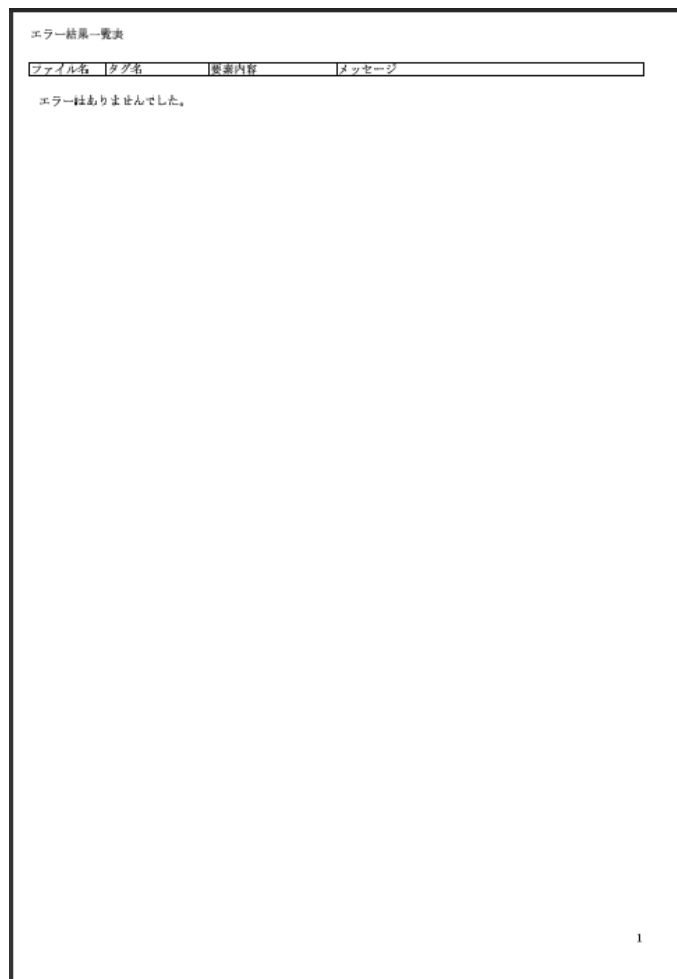



図 4-30 エラーなし（印刷）

4.5 電子納品媒体閲覧機能（閲覧画面）

4.5.1 閲覧画面と表示項目

閲覧画面表示を選択した場合、もしくはエラーチェックが終了した後に、閲覧画面が表示されます。

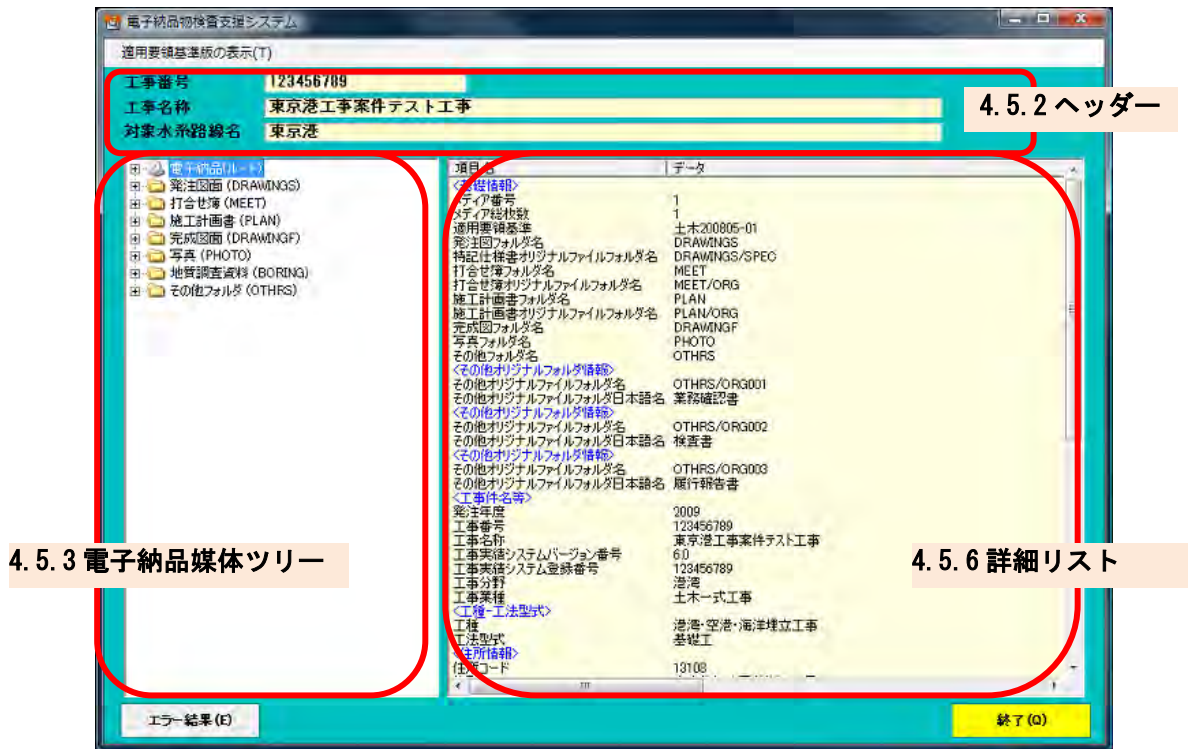



図 4-31 閲覧画面

4.5.2 閲覧画面のヘッダー項目

閲覧画面のヘッダー項目は以下の通りです。

✧ ［工事完成図書電子納品閲覧の場合］

・工事名称、工事番号、路線水系名等

「**工事名称**」：INDEX_C(EC,MC).XML の＜**工事名称**＞の要素が表示されます。
「**工事番号**」：INDEX_C(EC,MC).XML の＜**工事番号**＞の要素が表示されます。
「**路線水系名**」：INDEX_C(EC,MC).XML の＜**路線水系名等**＞の要素が表示されます。

✧ ［土木設計業務等閲覧の場合］

・業務名称、設計番号、水系路線名称

「**業務名称**」：INDEX_D(ED,MD).XML の＜**業務名称**＞の要素が表示されます。
「**設計番号**」：INDEX_D(ED,MD).XML の＜**設計書コード**＞の要素が表示されます。
「**水系路線名称**」：INDEX_D(ED,MD).XML の＜**業務対象水系路線名**＞の要素が表示されます。

4.5.3 電子納品媒体ツリー

✧ ツリー構造の初期表示はルートの子フォルダまでの表示です。
親フォルダの[+] をクリックすると、子フォルダまたはファイルが表示されます。

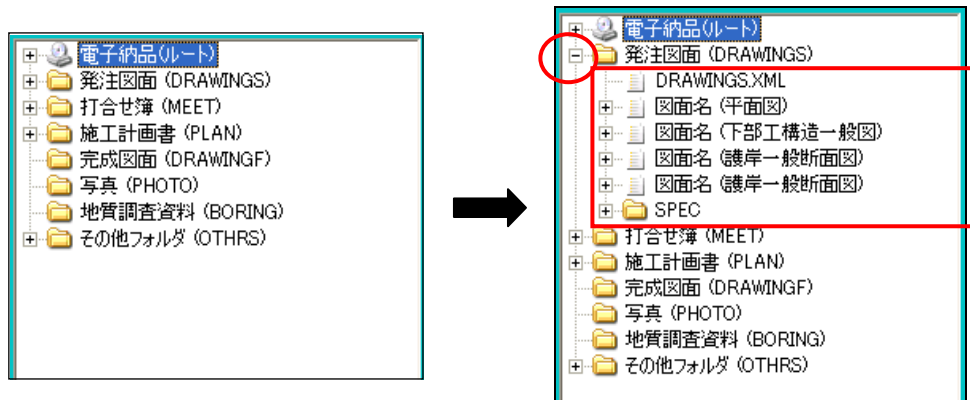



図 4-32 ツリー表示(開いた状態)

✧ 各フォルダ配下の XML ファイルをダブルクリックすると、「横展開表示」ウィンドウが表示されます。
→ 4.5.4 へ

図 4-33XML ファイルを選択

✧ 各書類アイコンをダブルクリックすると、「絞込み表示」ウィンドウが表示されます。
→ 4.5.5 へ

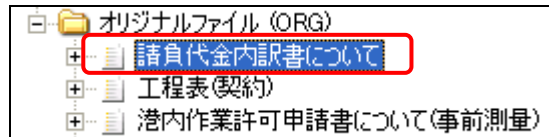



図 4-34 書類アイコン選択

✧ 各ファイルアイコンをダブルクリックすると、関連付けされたアプリケーションで、該当ファイルを開きます。(例:M00001_02.XLS の場合、Excel が起動)

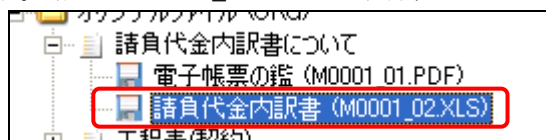



図 4-35 ファイルアイコン選択

✧ 各フォルダは、その種類によって、適したグループにまとめて表示されます。
グルーピング内容について、次頁以降に記載いたします。

(1) DRAWING グルーピング

発注図面(DRAWINGS)、完成図面(DRAWINGF)などの図面ツリーは、図面管理ファイルの『図面名』でグルーピングされます。

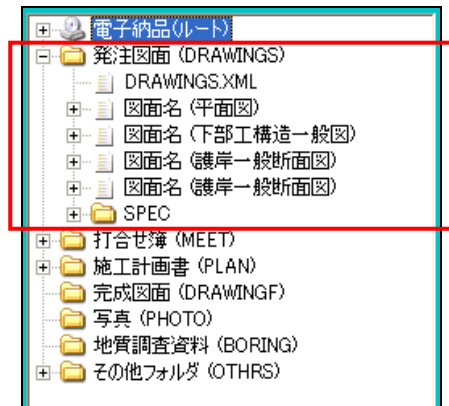



図 4-36DRAWINGS ツリーのグルーピング

(2) MEET グルーピング

MEET ツリーは、打合せ簿管理ファイルの『打合せ簿種類』でグルーピングされます。

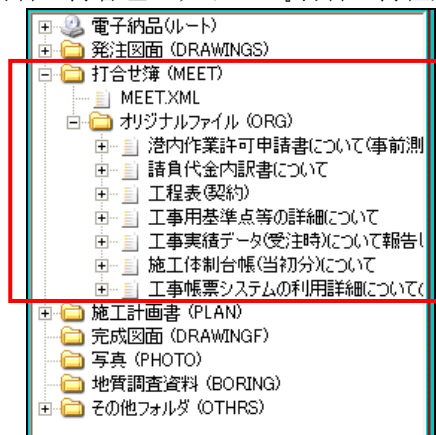



図 4-37MEET ツリーのグルーピング

(3) PLAN グルーピング

PLAN ツリーは、施工計画書管理ファイルの『施工計画書名称』でグルーピングされます。

図 4-38 PLAN ツリーのグルーピング

(4) PHOTO グルーピング

PHOTO ツリーは、写真管理ファイルの『写真管理区分』でグルーピングされます。

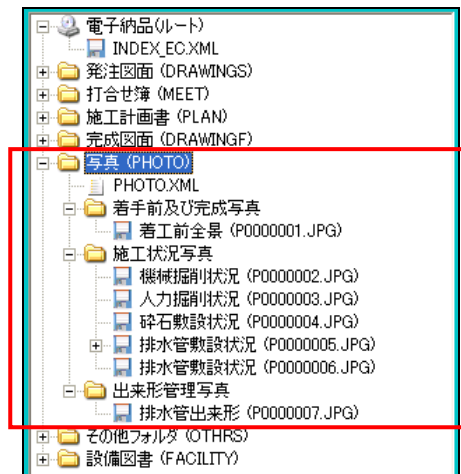



図 4-39PHOTO ツリーのグルーピング

(5) OTHRS グルーピング

OTHRS ツリーは、『その他サブフォルダ日本語名』グルーピングされます。
また、ORG001～003 のサブフォルダは、『資料名』でグルーピングされます。

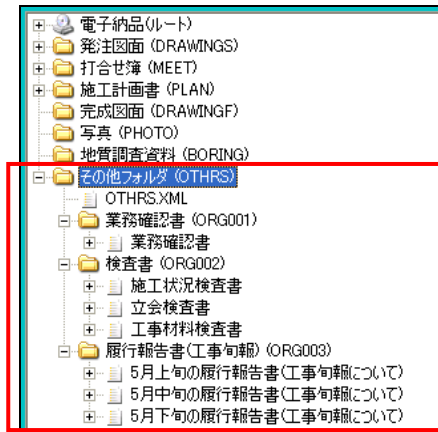



図 4-40OTHRS ツリーのグルーピング

(6) SURVEY グルーピング

SURVEY ツリーは、測量情報管理ファイルの『測量区分』でグルーピングされます。

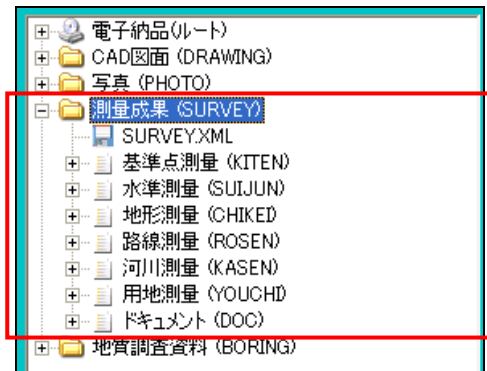



図 4-41SURVEY ツリーのグルーピング

(7) BORING グルーピング

BORING ツリーは、地質情報管理ファイルの『ボーリング名』でグルーピングされます。

また、TEST サブフォルダ（土質試験及び地盤調査）は、『地点名』で、さらにそのサブフォルダは『試験名称』でグルーピングされます。

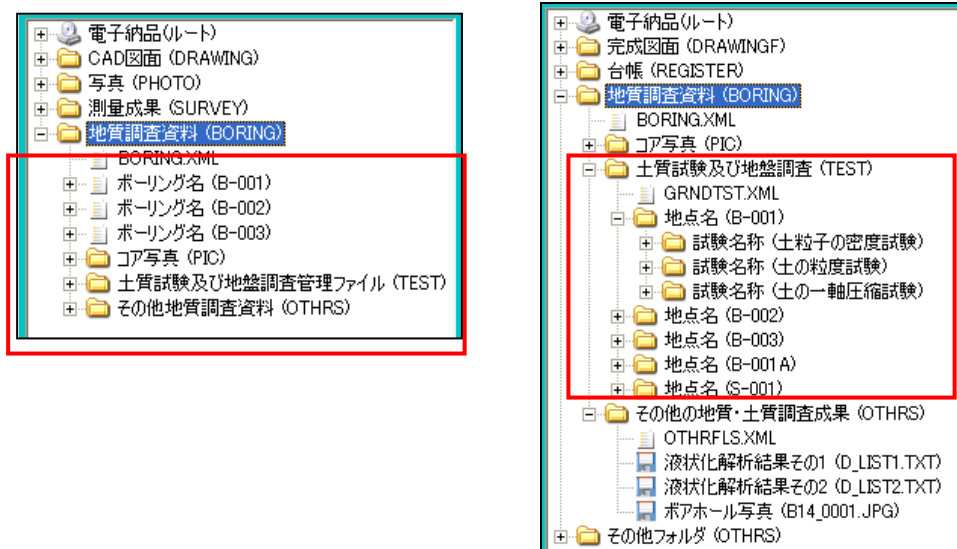



図 4-42BORING ツリーのグルーピング

(8) REPORT グルーピング

REPORT ツリーは、報告書管理ファイルの『報告書名』でグルーピングされます。

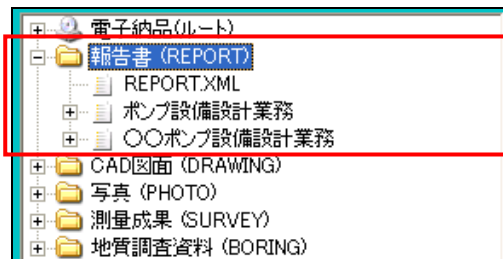



図 4-43REPORT ツリーのグルーピング

(9) FACILITY グルーピング

FACILITY ツリーは、設備図書管理ファイルの『設計図書名称』でグルーピングされます。

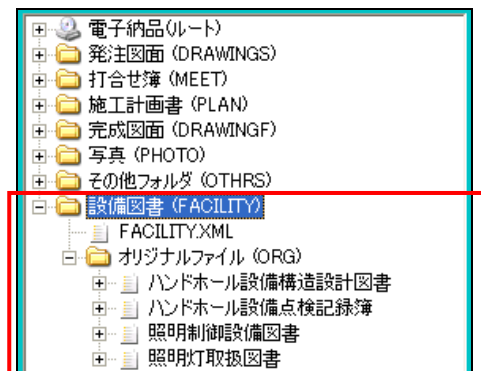



図 4-44FACILITY ツリーのグルーピング

(10) K_BOOK グルーピング

K_BOOK ツリーは、各完成図書フォルダ名称（固定）でグルーピングされます。

図 4-45K_BOOK ツリーのグルーピング

(11) K_LDR グルーピング

K_LDR ツリーは、台帳管理ファイルの『台帳名称』でグルーピングされます。

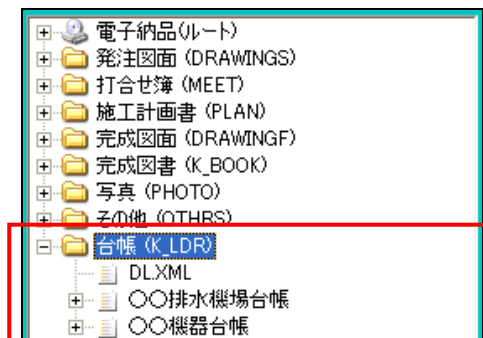



図 4-46K_LDR ツリーのグルーピング

(12) REGISTER グルーピング

REGISTER ツリーは、台帳管理ファイルの『台帳フォルダ日本語名』でグルーピングされます。

図 4-47REGISTER ツリーのグルーピング

4.5.4 横展開表示

(1) 電子納品媒体ツリーで各フォルダ配下の各管理ファイルをダブルクリックすると、「横展開表示」ウィンドウが表示されます。※INDEX_*.XML は対象外です。

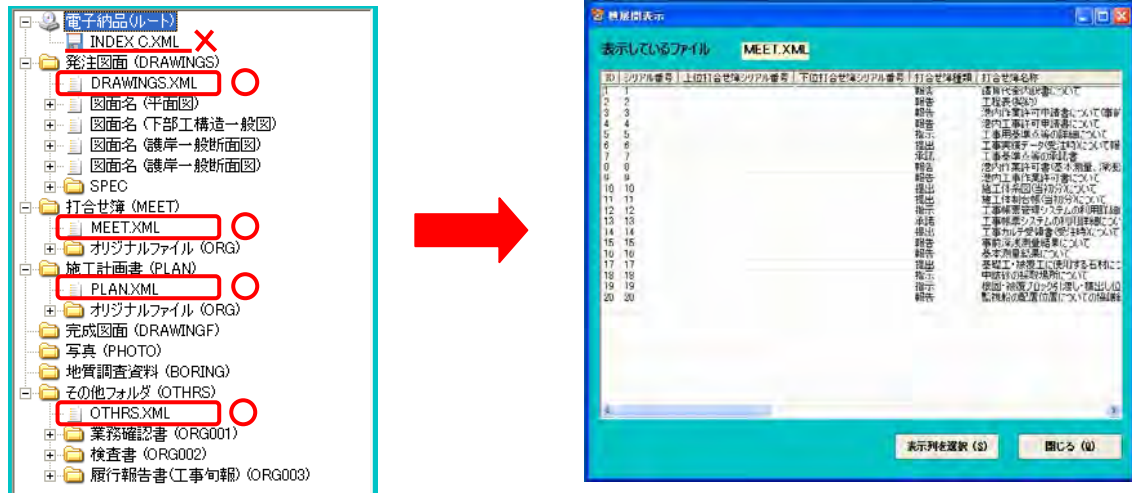



図 4-48 横展開表示ウィンドウ

(2) ［表示列を選択(S)］をクリックすると、「横展開表示」の列表示項目を選択できます。

図 4-49 表示列選択画面

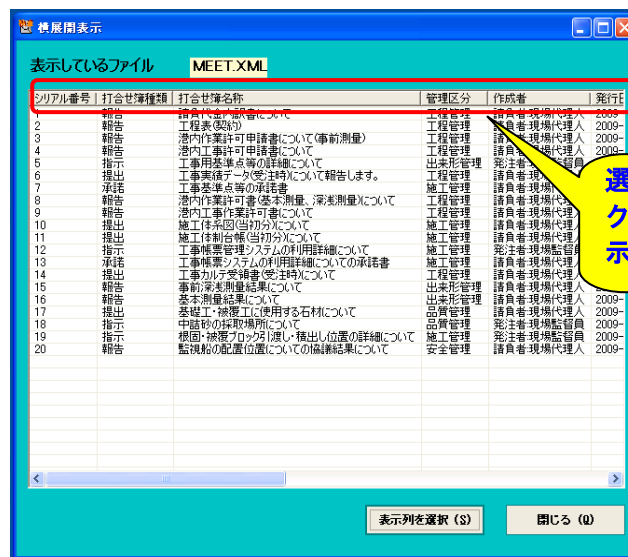



図 4-50 表示列選択後

(3) 一覧リストの項目名の部分をダブルクリックするとその項目で文字コード順に並べ替えが出来ます。目的の書類名称の検索等を効率的に行うために利用してください。

図 4-51 打合せ簿種類をソート表示

✧ 各行をダブルクリックすると、「絞込み表示」ウィンドウが表示されます。

→ 4.5.5 へ

4.5.5 絞込み表示

各書類アイコンをダブルクリックした場合、または、横展開表示（P.30 4.5.4）から行をダブルクリックした場合に、絞込み表示画面が表示されます。

絞込み表示では、各管理の内容のうち、該当する部分が抽出されて表示されます。

項目名	データ
<打合せ簿情報>	
シリアル番号	1
打合せ簿種類	報告
打合せ簿名称	請負代金内訳書について
管理区分	工程管理
作成者	請負者:現場代理人
提出先	発注者
発行日付	2009-05-10
受理日付	2009-05-10
完了日付	2009-05-10
<オリジナルファイル情報>	
打合せ簿オリジナルファイル名	M0001_01.PDF
打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	YSS PDF CONVERTER VER1.0
オリジナルファイル内容	電子帳票の鑑
<オリジナルファイル情報>	
打合せ簿オリジナルファイル名	M0001_02.XLS
打合せ簿オリジナルファイル作成ソフトバージョン情報	MicroSoft_Excel_2002
オリジナルファイル内容	請負代金内訳書

図 4-52 絞込み表示ウィンドウ

対象が工事写真（PHOTO）フォルダの場合は、
上部分：写真区分／工種／種別／写真タイトル　項目
下部分：対象画像
が表示されます。

項目名	データ
<写真情報>	
<写真ファイル情報>	
シリアル番号	3
写真ファイル名	P0000003.JPG
メディア番号	1
<撮影工種区分>	
写真-大分類	工事
写真区分	施工状況写真

図 4-53 絞込み表示（PHOTO の場合）

4.5.6 詳細リスト

(1) ツリー構造でフォルダの選択を行うと、そのフォルダに対応している管理ファイルの内容が一覧で表示されます。
最初の画面表示では、INDEX_*(C,D,EC,ED,MC,MD).XML の内容が表示されます。

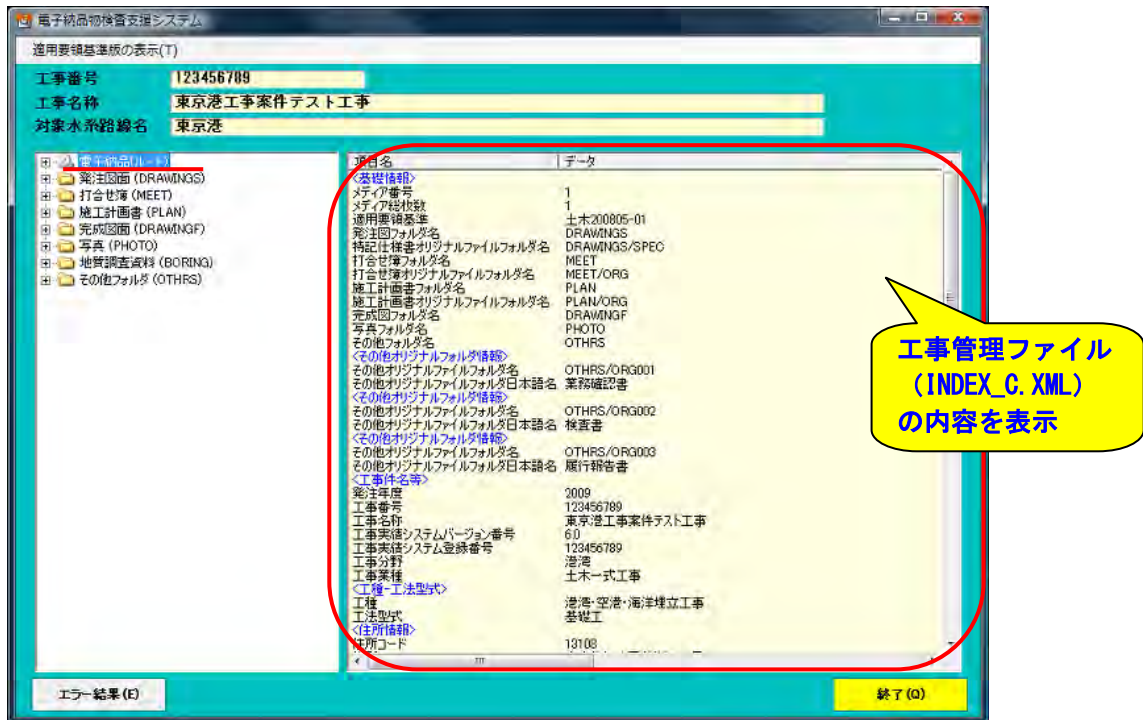



図 4-54INDEX ファイルの内容表示

(2) JPG、TIFF などの画像ファイルを選択した場合は、詳細リストの下部分に選択した画像が表示されます。上部分は対象 XML ファイルの内容を表示します。

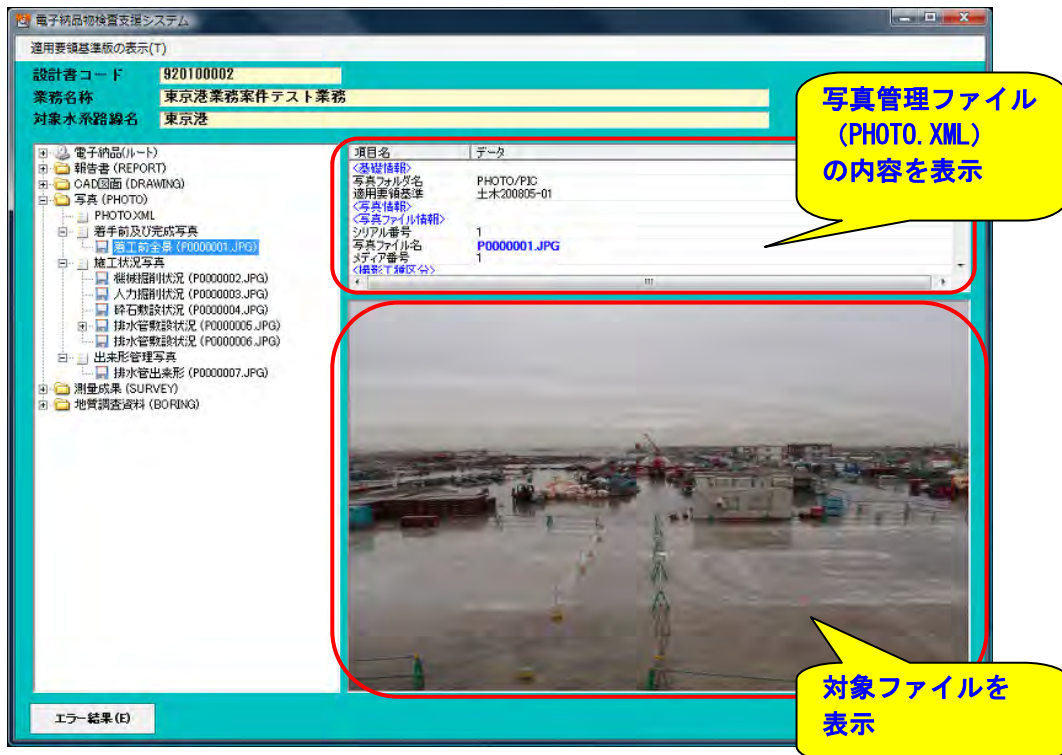



図 4-55 画像ファイルを表示

(3) 詳細リストのオリジナルファイル名（青色文字）をダブルクリックすると、オリジナルファイルに関連付けされたアプリケーションでファイルを開きます。

PDF ファイルをダブルクリックすると、AdobeReaderが起動し内容を表示

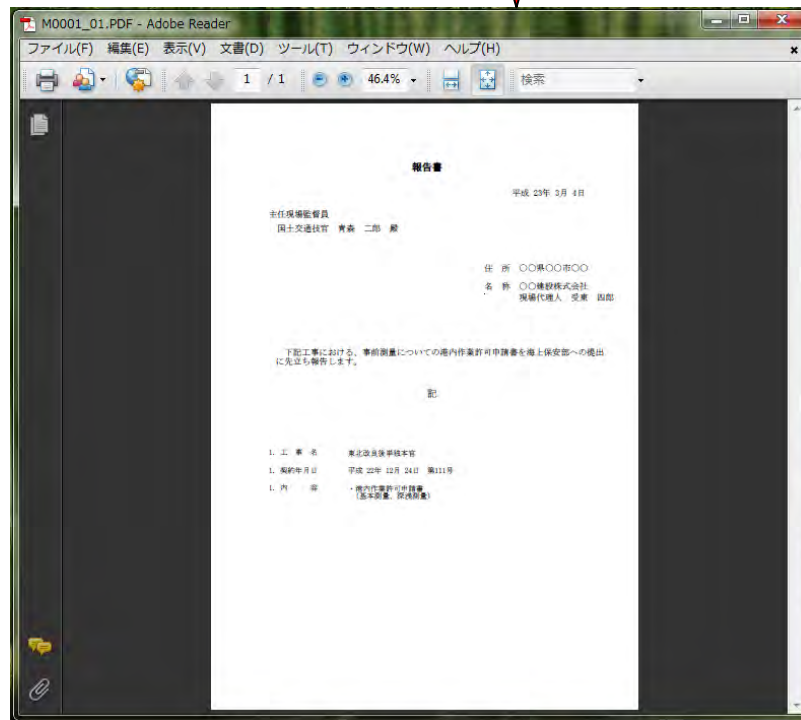
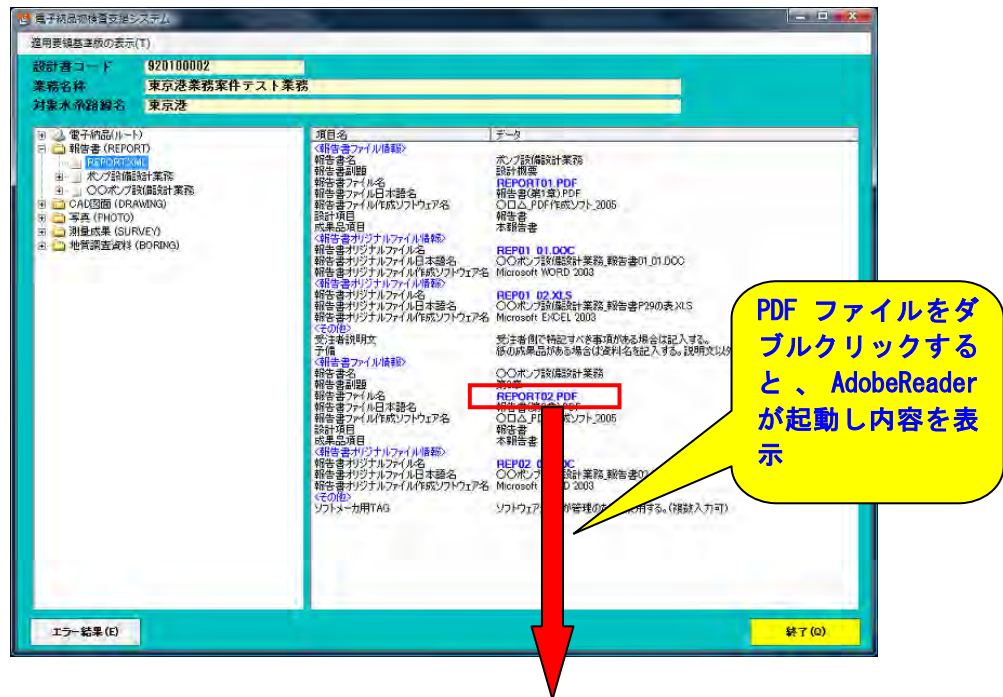



図 4-56 オリジナルファイルの起動

4.5.7 閲覧画面のボタン

- ✧ ［エラー結果］ボタンをクリックするとエラー結果ダイアログが表示されます。
- ✧ ［終了ボタン］をクリックすると、電子納品物検査支援システムが終了します。

図 4-57 閲覧画面のボタン

5 エラーメッセージ一覧表

5.1 使用文字列に関する基本的なエラー

エラーメッセージ	エラーへの対応
必須項目が記述されていません	必須項目タグ要素に何も記述されていないため、適切な内容を記載してください。
全角文字{0}が使用されています ※{0}は検出された全ての全角文字	全角文字が許可されていない箇所に全角文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
半角文字{0}が使用されています ※{0}は検出された全ての半角文字	半角文字が許可されていない箇所に半角文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
英大文字{0}が使用されています ※{0}は検出された全ての英大文字	英大文字が許可されていない箇所に英大文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
英小文字{0}が使用されています ※{0}は検出された全ての英小文字	英小文字が許可されていない箇所に英小文字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
半角数字{0}が使用されています ※{0}は検出された全ての半角数字	半角数字が許可されていない箇所に半角数字が入っていますので、要領等を確認し、適切な文字を入力してください。
記述内容の文字数を「{0}」にして下さい ※{0}は文字数	文字数が指定された文字数（固定）になっていませんので、要領等を確認し、適切な文字数で入力してください。
規定文字数「{0}」を超えています ※{0}は制限文字数	文字数が指定された文字数を超えていますので、要領等を確認し、適切な文字数以内で入力してください。
禁則文字{0}が使用されています ※{0}は検出された全ての禁則文字	禁則文字（*1）が使われていますので、該当文字を削除するか、他の文字に置き換えてください。
「{0}」を記述して下さい ※{0}は記述すべき文字列の期待値	指定した文字列が記述されていませんので、要領等を確認し、固定文字列を入力してください。
ファイル「{0}」が実在していません ※{0}は実在チェックファイル名	管理ファイルに記述されたファイルが実在していませんので、管理ファイルに記述されたファイル名と実ファイル名を確認してください。

（*1）禁則文字は以下の通り

文字コード範囲	備考
8143-8144, 8146-8149, 814C, 814F-8151, 815E, 8162, 8169-816A, 816D-8170, 817B, 8181, 8183-8184, 818F-8190, 8193-8197	重複符号化禁止の原則による禁則文字
8167-8168	ＴＥＣＲＩＳ使用不可文字
7F-FF, 824F-829A, 8740-879C, ED40-FFFF	その他の禁則文字

5.2 固定文字列に関するエラー

5.2.1 INDEX_C,INDEX_EC,INDEX_MC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他オリジナルファイルフォルダ名	命名規則に違反しています。「OTHRS/ORGnnn」にして下さい。	＜基礎情報＞－＜その他オリジナルフォルダ情報＞ －＜その他オリジナルファイルフォルダ名＞の値は「OTHRS/ORGnnn」(n は 0～9 の数値）にしてください。
台帳オリジナルファイルフォルダ名	命名規則に違反しています。「REGISTER/ORGnnn」にして下さい。	＜基礎情報＞－＜台帳オリジナルファイルフォルダ情報＞－＜台帳オリジナルファイルフォルダ名＞の値を「REGISTER /ORGnnn」(n は 0～9 の数値）にしてください。
発注年度	西暦４桁で記入して下さい。	＜工事件名等＞－＜発注年度＞の値は 0000～9999 の数値にしてください。
測地系	「00（日本測地系)」か「01（世界測地系)」のいずれかを記入して下さい。	＜場所情報＞－＜測地系＞の値は 00 または 01 にしてください。
現道-旧道区分	「1：現道」「2：旧道」「3：新道」「0：未調査」のいずれかを記入して下さい。	＜場所情報＞－＜水系-路線情報＞－＜現道-旧道区分＞の値は 0～3 の数値にしてください。
左右岸上下線コード	左右岸上下線コード「00～03」「10」「20」「30」「99」のいずれかを記入して下さい。	＜場所情報＞－＜水系-路線情報＞－＜左右岸上下線コード＞の値は 00～03,10,20,30,99 の数値にしてください。
西（東・北・南）側境界座標経度	頭文字にハイフン「-」を含めて８桁（又は４桁）の数値を記入して下さい。	＜場所情報＞－＜境界座標情報＞－＜西（東・北・南）側境界座標経度＞の値は頭文字にハイフン「-」を含めて８桁（又は４桁）の数値にしてください。
台帳フォルダ	台帳フォルダの有無を示す値が誤っています。「0」又は「1」にして下さい。	＜施設情報＞－＜台帳フォルダ＞の値は 0～1 の数値にしてください。

5.2.2 MEET

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	<打合せ簿情報>－<シリアル番号> の属性「上位（下位）打合せ簿シリアル番号」 の値の先頭は 0 以外になります。
打合せ簿種類	「指示」、「承諾」、「協議」、「提出」、「提示」、「報告」、「通知」、「その他」の中から選んで記入して下さい。	<打合せ簿情報>－<打合せ簿種類> の値は「指示」、「承諾」、「協議」、「提出」、「提示」、「報告」、「通知」、「その他」から選択します。
打合せ簿オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「Mnnnn_mm.*」にして下さい。	<打合せ簿情報> － <打合せ簿オリジナルファイル名> の値は「Mnnnn_mm.*」になります。
工事帳票種類	「打合せ簿」、「工事履行報告書」、「材料確認願」、「段階確認書」、「確認・立会願」の中から選んで記入して下さい。	<打合せ簿情報>－<工事帳票種類> の値は「打合せ簿」、「工事履行報告書」、「材料確認願」、「段階確認書」、「確認・立会願」から選択します。

5.2.3 PLAN

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	<施工計画書情報> － <シリアル番号>　の値の先頭は 0 以外になります。
施工計画書オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「PLAnn_mm.*」にして下さい。	<施工計画書情報>－ <オリジナルファイル情報>－ <施工計画書オリジナルファイル名>の値は「PLAnn_mm.*」になります。

5.2.4 OTHRS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他サブフォルダ名	命名規則に違反しています。「ORGnnn」にして下さい。	<サブフォルダ情報>－<その他サブフォルダ名>の値は「ORGnnn」になります。
シリアル番号	先頭にゼロをつけないで下さい。	<サブフォルダ情報> －<その他資料情報>－ <オリジナルファイル情報> － <シリアル番号>の値の先頭は 0 以外になります。

5.2.5 DRAWING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測地系	「00（日本測地系）」か「01（世界測地系）」のいずれかを記入して下さい。	〈図面情報〉－〈基準点情報〉－〈測地系〉の値は00または01になります。
基準点情報緯度	頭文字にハイフン「-」を含めて８桁（又は４桁）の数値を記入して下さい。	〈図面情報〉－〈基準点情報〉－〈基準点情報緯度〉の値は、頭文字にハイフン「-」を含めて８桁（又は４桁）の数値になります。
新規レイヤ	レイヤ名の命名規則に違反しています。CAD製図基準（案）でご確認下さい。	〈図面情報〉－〈その他〉－〈新規レイヤ〉－〈新規レイヤ-略語〉の値は、CAD製図基準のレイヤ名命名規則　を参照して記入します。

5.2.6 PHOTO

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真-大分類	「工事」、「測量」、「調査」、「地質」、「広報」、「設計」、「その他」の中から選んで記入して下さい。	〈写真情報〉－〈撮影工種区分〉－〈写真-大分類〉の値は「工事」、「測量」、「調査」、「地質」、「広報」、「設計」、「その他」から選択してください。
代表写真	代表写真の場合は「1」、それ以外は「0」を記入して下さい。	〈写真情報〉－〈代表写真〉の値は左記条件により 1 または 0 になります。
提出頻度写真	提出頻度写真の場合は「1」、それ以外は「0」を記入して下さい。	〈写真情報〉－〈提出頻度写真〉の値は左記条件により 1 または 0 になります。
写真ファイル名	命名規則に違反しています。「Pnnnnnnn.JPG」にして下さい。	〈写真情報〉－〈写真ファイル情報〉－〈写真ファイル名〉の値は「Pnnnnnnn.JPG」になります。
参考図ファイル名	命名規則に違反しています。「Dnnnnnnn.JPG」もしくは「Dnnnnnnn.TIF」にして下さい。	〈写真情報〉－〈付加情報〉－〈参考図ファイル名〉の値は「Dnnnnnnn.JPG」または「Dnnnnnnn.TIF」になります。
参考図ファイル名	命名規則に違反しています。「Dnnnnnnn.*」にして下さい。	〈写真情報〉－〈付加情報〉－〈参考図ファイル名〉の値は「Dnnnnnnn.*」になります。 ※H22_09版

5.2.7 REPORT

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
報告書ファイル名	報告書ファイル名が命名規則に違反しています。「REPORTnn.PDF」（nnは連番）にして下さい。	〈報告書ファイル情報〉－〈報告書ファイル名〉の値は「REPORTnn.PDF」になります。
報告書オリジナルファイル名	報告書オリジナルファイル名が命名規則に違反しています。「REPnn_mm.XXX」（nn,mmは連番、XXXは3桁以内の拡張子）にして下さい。	〈報告書ファイル情報〉－〈報告書オリジナルファイル情報〉－〈報告書オリジナルファイル名〉の値は「REPnn_mm.XXX」になります。

5.2.8 SURVEY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
画像種別	「1」か「2」にして下さい。	〈測量情報〉－〈画像種別〉の値は1または2になります。
アナログデジタル区分	「1」か「2」にして下さい。	〈測量情報〉－〈アナログデジタル区分〉の値は1または2になります。
新規修正区分	「1」「2」「3」のいずれかにして下さい。	〈測量情報〉－〈新規修正区分〉の値は1または2または3になります。
測量区分	「基準点測量・水準測量・地形測量・路線測量・河川測量・用地測量」のいずれかを入力して下さい。	〈測量情報〉－〈測量区分〉の値は「基準点測量・水準測量・地形測量・路線測量・河川測量・用地測量」から選択します。 ※H16_06版
測量区分	「基準点測量・水準測量・地形測量及び写真測量・路線測量・河川測量・用地測量・その他の応用測量」のいずれかを入力して下さい。	〈測量情報〉－〈測量区分〉の値は「基準点測量・水準測量・地形測量及び写真測量・路線測量・河川測量・用地測量・その他の応用測量」から選択します。 ※H22_09版
第三者機関成果検定の有無	「第三者機関成果検定の有無」を示す値が誤っています。「0」又は「1」にして下さい。	〈基礎情報〉－〈第三者機関成果検定の有無〉の値は0または1になります。

5.2.9 SURV_KTN,SURV_SJN...,SURV_*（SURVEY配下）

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量成果区分フォルダ名	測量成果区分フォルダの名称が誤っています。「WORK」「DATA」「OTHRS」のいずれかにして下さい。	〈測量成果情報〉－〈測量成果区分フォルダ名〉の値は「WORK」「DATA」「OTHRS」から選択します。

5.2.10 SURV_DOC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ドキュメントファイル名	命名規則に違反しています。	〈ドキュメント情報〉－〈ドキュメントファイル名〉の値はSPECP、SPECS又はMEETSで始まるPDFファイル名か、SUVRPで始まるファイル名になります。

5.2.11 BORING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ボーリング交換用データファイル名	ボーリング交換用データファイル名が命名規則に違反しています。「BEDNNNN.XML」(NNNN は 0001 から始まる連番)にして下さい。	〈ボーリング情報〉－〈ボーリング交換用データ〉－〈ボーリング交換用データファイル名〉の値は「BEDNNNN.XML」になります。
電子柱状図ファイル名	電子柱状図ファイル名が命名規則に違反しています。「BRGNNNN.PDF」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	〈ボーリング情報〉－〈電子柱状図〉－〈電子柱状図ファイル名〉の値は「BRGNNNN.PDF」になります。
電子簡略柱状図ファイル名	電子簡略柱状図ファイル名が命名規則に違反しています。「BRGNNNN.*」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	〈ボーリング情報〉－〈電子簡略柱状図〉－〈電子簡略柱状図ファイル名〉の値は「BRGNNNN.*」になります。

5.2.12 GRNDTST

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
電子土質試験結果一覧表ファイル名	電子土質試験結果一覧表ファイル名が命名規則に違反しています。「STBNNNN.PDF」又は「STANNNN.PDF」又は「STSNNNN.PDF」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	〈試験情報〉－〈電子土質試験結果一覧表ファイル名〉の値は「STBNNNN.PDF」又は「STANNNN.PDF」又は「STSNNNN.PDF」になります。
土質試験結果一覧表データファイル名	土質試験結果一覧表データファイル名が命名規則に違反しています。「STBNNNN.XML」又は「STANNNN.XML」又は「STSNNNN.XML」(NNNN は 0001 から始まる連番) にして下さい。	〈試験情報〉－〈土質試験結果一覧表データファイル名〉の値は「STBNNNN.XML」又は「STANNNN.XML」又は「STSNNNN.XML」になります。
電子データシートファイル名	電子データシートファイル名が命名規則に違反しています。「TSNNNMMM.PDF」(NNN は 001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番) にして下さい。	〈試験情報〉－〈各種試験情報〉－〈電子データシートファイル名〉の値は「TSNNNMMM.PDF」になります。
データシート交換用データファイル名	データシート交換用データファイル名が命名規則に違反しています。「TSNNNMMM.XML」(NNN は 001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番) にして下さい。	〈試験情報〉－〈各種試験情報〉－〈データシート交換用データファイル名〉の値は「TSNNNMMM.XML」になります。
デジタル試料供試体写真ファイル名	デジタル試料供試体写真ファイル名が命名規則に違反しています。「SNNNMMMK.JPG」(NNN は 001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番、K は 1 から始まる整理番号)	〈試験情報〉－〈各種試験情報〉－〈デジタル試料供試体写真ファイル名〉の値は「SNNNMMMK.JPG」になります。

5.2.13 STLIST

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
経緯度読取精度	「0」「1」「2」「3」「4」のいずれかにして下さい。	<標題情報>－<位置情報>－<経緯度読取精度>の値は 0～4 の数値になります。
試料採取情報	「0」か「1」にして下さい。	<試験情報>－<試料情報>－<試料採取情報>の値は 0,1 の数値になります。
試料の状態	「1～8」のいずれかにして下さい。	<試験情報>－<試料情報>－<試料の状態>の値は 1～8 の数値になります。
経緯度取得方法_コード	「01」「02」「03」「09」のいずれかにして下さい。（01：測量(GPS 測量含む)、02：地形図読み取り、03：単独測位 GPS システム、09：その他の方法・不明）	<標題情報>－<位置情報>－<経緯度取得方法>－<経緯度取得方法_コード>の値は「01」「02」「03」「09」の数値になります。

5.2.14 BS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
実施仕様書オリジナルファイル名	B 実施仕様書ファイルの命名規則に違反しています。「BSnnn_m.PDF」にして下さい。	<実施仕様書情報>－<オリジナルファイル情報>－<実施仕様書オリジナルファイル名>の値は「BSnnn_m.PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにして下さい。	<実施仕様書情報>－<オリジナルファイル情報>－<施設コード>の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。

5.2.15 BC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
計算書オリジナルファイル名	B 計算書・検討書・数量表ファイルの命名規則に違反しています。「BCnnn_m.PDF」にして下さい。	<計算書情報>－<オリジナルファイル情報>－<計算書オリジナルファイル名>の値は「BCnnn_m.PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している 17 桁のコードにして下さい。	<計算書情報>－<オリジナルファイル情報>－<施設コード>の値は「Z」もしくは 17 桁の半角英数字になります。

5.2.16 BD

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
機器図オリジナルファイル名	B 機器図ファイルの命名規則に違反しています。「BDnnn_m.PDF」にして下さい。	<機器図情報> - <オリジナルファイル情報> - <機器図オリジナルファイル名> の値は「BDnnn_m.PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している17桁のコードにして下さい。	<機器図情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは17桁の半角英数字になります。
機器コード	機器コードが規定のコードではありません。「ZZ」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している14桁のコードにして下さい。	<機器図情報> - <オリジナルファイル情報> - <機器コード> の値は「ZZ」もしくは14桁の半角英数字になります。

5.2.17 BI

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工図オリジナルファイル名	B 施工図ファイルの命名規則に違反しています。「BInnn_m.PDF」にして下さい。	<施工図情報> - <オリジナルファイル情報> - <施工図オリジナルファイル名> の値は「BInnn_m.PDF」になります。
施設コード	<機器図情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値が「Z」もしくは17桁の英大数字になります。	<施工図情報 > - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは17桁の半角英数字になります。

5.2.18 BE

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工管理記録書オリジナルファイル名	B 施工管理記録書ファイルの命名規則に違反しています。「BEnnn_m.PDF」にして下さい。	<施工管理記録書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施工管理記録書オリジナルファイル名>の値は「BEnnn_m.PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している17桁のコードにして下さい。	<施工管理記録書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施設コード> の値は「Z」もしくは17桁の半角英数字になります。
機器コード	機器コードが規定のコードではありません。「ZZ」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している14桁のコードにして下さい。	<施工管理記録書情報- <オリジナルファイル情報> - <機器コード> の値は「ZZ」もしくは14桁の半角英数字になります。

5.2.19 BM

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
取扱説明書オリジナルファイル名	B 取扱説明書ファイルの命名規則に違反しています。「BMnnn_m.PDF」にして下さい。	〈取扱説明書情報〉-〈オリジナルファイル情報〉-〈取扱説明書オリジナルファイル名〉の値は「BMnnn_m.PDF」になります。
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している17桁のコードにして下さい。	〈取扱説明書情報〉-〈オリジナルファイル情報〉-〈施設コード〉の値は「Z」もしくは17桁の半角英数字になります。
機器コード	機器コードが規定のコードではありません。「ZZ」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している14桁のコードにして下さい。	〈取扱説明書情報〉-〈オリジナルファイル情報〉-〈機器コード〉の値は「ZZ」もしくは14桁の半角英数字になります。

5.2.20 DL

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施設コード	施設コードが規定のコードではありません。「Z」もしくは「電子納品要領（案） 機械設備工事編 施設機器コード」で規定している17桁のコードにして下さい。	〈台帳情報〉-〈オリジナルファイル情報〉-〈施設コード〉の値は「Z」もしくは17桁の半角英数字になります。

5.2.21 COREPIC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真ファイル名	固定文字列チェック,デジタルコア写真ファイル名が命名規則に違反しています。「CNNNNMMM.JPG」（NNNN は 0001 から始まる連番、MMM は 001 から始まる連番）又は「RKKKKLLL.JPG」（KKKK は 0001 から始まる連番、LLL は 001 から始まる連番）にして下さい。	〈デジタルコア写真情報〉-〈写真ファイル名〉の値は「CNNNNMMM.JPG」又は「RKKKKLLL.JPG」になります。
撮影年月日	CCYY-MM-DD（西暦年月日）で記入して下さい。月日が1桁の場合、0を付加して必ず10桁で記入して下さい。	〈デジタルコア写真情報〉-〈撮影年月日〉の値は CCYY-MM-DD（西暦年月日）形式の値を入れます。

5.2.22 FACILITY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
設備図書オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。「FCLnn_mm.*」にして下さい。	〈設備図書情報〉-〈オリジナルファイル情報〉-〈設備図書オリジナルファイル名〉の値は「FCLnn_mm.*」になります。

5.3 複雑なチェックに関するエラー

5.3.1 INDEX_C,INDEX_EC,INDEX_MC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他オリジナルファイルフォルダ名	その他オリジナルファイルフォルダ名に{0}が含まれていません。	<その他オリジナルファイルフォルダ名>には、左記の{0}（ORG001、ORG002、ORG003 等）の記述が必要となります。
工事分野	「{0}」は CORINS の工事分野に存在しない名称です。 ※{0}は工事分野の名称	<工事件名等>－<工事分野>の値（名称）は CORINS の工事分野から選択します。(*1)
工事業種	「{0}」は CORINS の工事業種に存在しないコードです。 ※{0}は工事業種のコード	<工事件名等>－<工事業種>の値（名称）は CORINS の工事業種から選択します。(*1)
工事業種	「{0}」は CORINS の工事業種に存在しない名称です。 ※{0}は工事業種の名称	工事業種は CORINS の工事業種から選択します。(*1)
工種	「{0}」は CORINS の工事工種に存在しないコードです。 ※{0}は工事工種のコード	工種は CORINS の「工種、工法形式」の「工種」から選択します。(*1)
工種	「{0}」は CORINS の工事工種に存在しない名称です。 ※{0}は工事工種の名称	工種は CORINS の「工種、工法形式」の「工種」から選択します。(*1)
工法型式	「{0}」は CORINS の工事工法・型式に存在しないコードです。 ※{0}は工事工法・型式のコード	工法型式は CORINS の「工種、工法形式」の「工法・形式」から選択します。(*1)
工法型式	「{0}」は CORINS の工事工法・型式に存在しない名称です。 ※{0}は工事工法・型式の名称	工法型式は CORINS の「工種、工法形式」の「工法・形式」から選択します。(*1)
住所コード	「{0}」は住所コードに存在しないコードです。 ※{0}は施工場所コード	(H22.9 要領)住所コードは JIS に対応した 5 桁のコードを入力します。(*2) (H22.9 要領以外) 施工場所コードは CORINS の住所コードから選択します。(*1)
対象水系路線名 対象水系路線コード	「{0}」は港湾コード一覧表に存在しないコードです。 ※{0}は対象水系路線名もしくは業務対象水系路線等コード	対象水系路線名もしくは業務対象水系路線等コードは、「港湾・海岸・空港コード」及び「港湾・海岸・空港名称」を入力します。(*3)
対象水系路線名	「{0}」は港湾コード一覧表に存在しない名称です。 ※{0}は業務対象水系路線名	業務対象水系路線名は、「港湾・海岸・空港名称」を入力します。(*3)
発注者コード	CORINS の発注者コードに存在しないコードです。 ※{0}は発注者コード	発注者コードは CORINS の発注者コードから選択します。(*1)

(*1) CORINS の項目名称 ： http://www.cals-ed.go.jp/calsec/corins.htm
(*2) LASDEC の地方公共団体コードの上位 5 桁を使用する ： https://www.lasdec.or.jp/cms/1,0,14.html
(*3) 地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品運用ガイドライン（案）【資料編】
の「資料－1 港湾・海岸・空港コード一覧表」： http://www.ysk.nilim.go.jp/cals/05download/chap05.html

5.3.2 BS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
実施仕様書オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は 3-7 ケタ目の値	<実施仕様書情報> － <オリジナルファイル情報> － <実施仕様書オリジナルファイル名>の 3-7 ケタ目が重複しているので、連番にします。

5.3.3 BC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
計算書オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は 3-7 ケタ目の値	<計算書情報> － <オリジナルファイル情報> － <計算書オリジナルファイル名 >の 3-7 ケタ目が重複しているので、連番にします。

5.3.4 BI

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工図オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は 3-7 ケタ目の値	<施工図情報> － <オリジナルファイル情報> － <施工図オリジナルファイル名 >の 3-7 ケタ目が重複しているので、連番にします。

5.3.5 BD

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
機器図オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は 3-7 ケタ目の値	<機器図情報 > － <オリジナルファイル情報> － <機器図オリジナルファイル名>の 3-7 ケタ目が重複しているので、連番にします。

5.3.6 BE

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工管理記録書オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は 3-7 ケタ目の値	<施工管理記録書情報 > － <オリジナルファイル情報> － <施工管理記録書オリジナルファイル名>の 3-7 ケタ目が重複しているので、連番にします。

5.3.7 BM

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
取扱説明書オリジナルファイル名	3-7 ケタ目「{0}」が重複しています。ファイル名の連番ルールに違反しています。 ※{0}は3-7 ケタ目の値	<取扱説明書情報> - <オリジナルファイル情報> - <取扱説明書オリジナルファイル名>の 3-7 ケタ目が重複しているので、連番にします。

5.3.8 MEET

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。 ※{0}はベースファイル名	<打合せ簿情報> - <オリジナルファイル情報> - <打合せ簿オリジナルファイル名>の連番部分に重複したデータがあるので、連番にします。
シリアル番号	「{0}」が重複しています。シリアル番号が命名規則（連番）に違反しています。 ※{0}はシリアル番号	<打合せ簿情報> - <シリアル番号>は重複しない番号にします。
打合せ簿オリジナルファイル名	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、打合せ簿管理ファイル「MEET.XML」に記述された打合せ簿オリジナルファイルがありません。 ※{0}は打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	<打合せ簿情報> - <オリジナルファイル情報> - <打合せ簿オリジナルファイル名>は打合せ簿オリジナルファイルに存在するが実在ファイルを指定します。

5.3.9 PLAN

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
施工計画書オリジナルファイル名	施工計画書オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています（ベースファイル名「{0}」が重複しています）。 ※{0}はベースファイル名	<施工計画書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施工計画書オリジナルファイル名>の連番部分（ベースファイル名）は重複しない連番を指定します。
シリアル番号	「{0}」が重複しています。シリアル番号が命名規則（連番）に違反しています。 ※{0}はシリアル番号	<施工計画書情報> - <シリアル番号>は重複しない値を指定します。
施工計画書オリジナルファイル名	施工計画書オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に施工計画書管理ファイル「PLAN.XML」に記述された施工計画書オリジナルファイルがありません。 ※{0}は施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	<施工計画書情報> - <オリジナルファイル情報> - <施工計画書オリジナルファイル名>はオリジナルファイルが実在するファイルを指定します。

5.3.10 OTHRS

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
その他サブフォルダ名	その他サブフォルダ名に「{0}」が含まれていません。 ※{0}はチェックするフォルダ名 （ORG001,ORG002 等）	〈サブフォルダ情報〉－〈その他サブフォルダ名〉の値に、左記の{0}（ORG001、ORG002、ORG003 等）のフォルダが必要となります。
シリアル番号	同一サブフォルダ内でシリアル番号「{0}」が重複しています。 ※{0}はシリアル番号	〈サブフォルダ情報〉－〈その他資料情報〉－〈オリジナルファイル情報〉－〈シリアル番号〉の値は同一サブフォルダで重複しない値にします。
オリジナルファイル名	オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています）。 ※{0}はベースファイル名	〈サブフォルダ情報〉－〈その他資料情報〉－〈オリジナルファイル名〉の値の連番部分は、重複しない名前にします。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。1-3 桁目を「{0}」にして下さい。 ※{0}は関数の引数に指定された、1-3 桁目に入るべき値(CHK または PRG)	〈サブフォルダ情報〉－〈その他資料情報〉－〈オリジナルファイル名〉の 1-3 桁目は港湾空港関係の事業では、「CHK」または「PRG」にします。 ※〈オリジナルファイル名〉のチェック形式は ORG001、ORG002 の場合は「CHKnn_mm.XXX」、ORG003 の場合は「PRGnn_mm.XXX」となります。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。4 桁目以降の記述に誤りがあります。	〈サブフォルダ情報〉－〈その他資料情報〉－〈オリジナルファイル名〉の 4 桁目以降は「nn_mm.XXX」の形式にします。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。4-5 桁目は「00」となってはいけません。	〈サブフォルダ情報〉－〈その他資料情報〉－〈オリジナルファイル名〉の値の 4-5 桁目は「00」以外の値にします。
オリジナルファイル名	命名規則に違反しています。7-8 桁目は「00」となってはいけません。	〈サブフォルダ情報〉－〈その他資料情報〉－〈オリジナルファイル名〉の値の 7-8 桁目は「00」以外の値にします。
チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
オリジナルファイル名	その他資料オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、その他管理ファイル「OTHRS.XML」に記述されたその他資料オリジナルファイルがありません。 ※{0}はその他資料オリジナルファイルフォルダ名	〈サブフォルダ情報〉－〈その他資料情報〉－〈オリジナルファイル名〉は、実在するファイル名にします。

5.3.11 DRAWING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
対象工種-数	対象工種に基準・ガイドラインで指定されていない工種番号「{0:D3}」が指定されています。追加工種項目を入力して下さい。 ※{0:D3}は工種番号（数値 3 桁）	<共通情報> - <対象工種-数値> の値は、 基準・ガイドラインで指定された数字を記載します。
対象工種-数値	「対象工種-数値」の値が空です。	<共通情報> - <対象工種-数値> の値は必須項目です。該当する工種の数値を入力してください。
対象工種-数値	「対象工種-数値」の値が整数ではありません。	<共通情報> - <対象工種-数値> の値は整数を入れます。
適用要領基準	「適用要領基準」の値が取得できませんでした。	<共通情報>-<適用要領基準> の値が入力されていません。適切な値を入れます。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。ファイル名の長さが不正です。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。	<図面情報>-<図面ファイル名> のファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）は半角半角英数字 8 文字になります。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。拡張子の長さが不正です。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。	<図面情報> - <図面ファイル名> の ファイル名の拡張子は半角半角英数字 3 文字になります。
図面ファイル名	ファイル名先頭 1 文字目はライフサイクルを示す文字「S」「D」「C」「M」のいずれかである必要があります。	<図面情報>-<図面ファイル名> の先頭 1 文字はライフサイクルを示す文字「S」「D」「C」「M」のいずれかになります。
図面ファイル名	ファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。CAD 製図基準（案）と港湾空港資料ガイドラインでご確認下さい。 ※{0}は図面ファイルのベースファイル名	<図面情報>-<図面ファイル名> のベースファイル名は CAD 製図基準（案）、地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品運用ガイドライン（案）【資料編】で決められた命名規則に沿ったものにします。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。3-4 文字目「{0}」は CAD 製図基準で規定されていない図面種類です。「{1}」のいずれかを指定して下さい。 ※{0}は図面ファイル名の 3-4 文字目 ※{1}は図面種類の期待値	<図面情報>-<図面ファイル名> の 3-4 桁目は CAD 製図基準で規定されている図面種類にします。
図面ファイル名	ファイル名が命名規則に違反しています。拡張子が不正です。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。	<図面情報> - <図面ファイル名> の拡張子は英数字にします。

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
図面ファイル名	図面フォルダ「{0}」の中に図面ファイル「{1}」が実在していません。 ※{0}は実在する図面フォルダ ※{1}は図面ファイル名	SXF 形式に変換した時に生成されるファイル群を確認し、電子成果品の図面フォルダに該当する図面属性ファイルを入れます。
SAF ファイル名	SAF ファイルの名称が命名規則に違反しています。SAF ファイル名の拡張子が.SAF になっていません。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。	〈図面情報〉－〈SAF ファイル名〉の拡張子は「.SAF」にします。
SAF ファイル名	SAF ファイル名が命名規則に違反しています。図面ファイル「{0}」のファイル名「{1}」と一致していません。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。 ※{0}は図面ファイル名 ※{1}は図面ファイルのファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）	〈図面情報〉－〈SAF ファイル名〉のファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）は図面ファイル名と同一にします。
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。ラスタファイル名の拡張子が.TIF になっていません。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。	〈図面情報〉－〈ラスタファイル〉－〈ラスタファイル名〉は SXF Ver.2.0 の場合 TIFF 形式の画像のみ扱えます。CAD データのラスタファイルの拡張子が「TIF」か確認してください。
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。ラスタファイル名の拡張子が.TIF 又は.JPG になっていません。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。	〈図面情報〉－〈ラスタファイル〉－〈ラスタファイル名〉は SXF Ver.3.0 または 3.1 の場合 JPEG 形式と TIFF 形式の画像のみ扱えます。CAD データのラスタファイルの拡張子が「JPG」または「TIF」か確認してください。
SXF のバージョン	予期しない SXF のバージョンです。（SXF Version={0}）	〈図面情報〉－〈SXF のバージョン〉の値は「2.0」「3.0」「3.1」から選択します。
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。ファイル名の長さが不正です。CAD 製図基準（案）でご確認下さい。	〈図面情報〉－〈ラスタファイル〉－〈ラスタファイル名〉ファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）は半角半角英数字 8 文字になります。
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。SXF Ver2.0 レベル 2 の場合、8 文字目は「Z」又は「0」を指定して下さい。	〈図面情報〉－〈ラスタファイル〉－〈ラスタファイル名〉の値の 8 文字目は「Z」又は「0」にします。（SXF Ver2.0 レベル 2 の場合）
ラスタファイル名	ラスタファイル名が命名規則に違反しています。SXF Ver3.0 レベル 2 以上の場合、8 文字目は 1～9 の整数を指定して下さい。	〈図面情報〉－〈ラスタファイル〉－〈ラスタファイル名〉の値のラスタファイル名の 8 文字目は「1～9」にします。（SXF Ver3.0 レベル 2 以上の場合）

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ラスタファイル数	ラスタファイル数の記述と、記入されているラスタファイル名の数が一致していません。	ラスタファイル数に記載されている数字と、ラスタファイル名の数が一致していません。CAD データのラスタファイルを確認してください。
(図面ファイル内のレイヤ)	基準・ガイドラインにレイヤ名:{0}が見つかりませんでした。図面管理ファイルに新規レイヤとして登録して下さい。 ※{0}はレイヤ名	レイヤ名は基準・ガイドラインで規定されているレイヤ名にします。別途レイヤを設定する場合は、新規レイヤとして登録します。
(図面ファイル内のレイヤ)	基準・ガイドラインで規定されている「レイヤ名」「線色」「線種」ではありません。(レイヤ名「{0}」、線色番号「{1}」、線種番号「{2}」) ※{0}はレイヤ名 ※{1}は線色番号 ※{2}は線種番号	該当するレイヤ名、線色、線種について、基準・ガイドラインを確認してください。
(図面ファイル内のレイヤ)	レイヤ名の先頭(責任主体)に「S」「D」「C」「M」のいずれかを記入して下さい。(レイヤ名「{0}」)	レイヤ名の先頭はライフサイクルを示す文字「S」「D」「C」「M」のいずれかになります。
(図面ファイル内のレイヤ)	基準・ガイドラインに適合していない線色・線種が見つかりました(レイヤ名「{0}」、フィーチャ名「{1}」)。	基準・ガイドラインに適合した線種・線色を使用してください。
(図面ファイル内のレイヤ)	「線色:{0}　線種:{1}」 ==> 「{2}」を使用して下さい。	基準・ガイドラインに適合した線種・線色を使用してください。
(図面ファイル内のレイヤ)	「線色:{0}」 ==> 「{1}」を使用して下さい。	基準・ガイドラインに適合した線色を使用してください。
(図面ファイル内のレイヤ)	その他の構造物等を表すレイヤ「{0}」が含まれています(レイヤ名「{1}」)	図面オブジェクト名にその他の構造物等・作業レイヤの記述(「OTRS」、「WORK」)を含んでいるので削除してください。
(図面ファイルの読み込み)	DLL がロード出来ませんでした。(dll_path={0})	Windows を再起動しても同様のエラーになる場合は、図面ファイルチェック用のライブラリ(common_lib_AP202.dll)が壊れている可能性がありますので、電子納品物検査支援システムの再インストールをしてください。
測地系	図面ファイルが{0}の場合、「00(日本測地系)」か「01(世界測地系)」のいずれかを記入する必要があります。	図面ファイル名が"LC","PL","GV"で、測地系に「00(日本測地系)」か「01(世界測地系)」が記載されていませんので確認してください。

(5.3.11 DRAWING) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
基準点緯度・経度　および基準点情報平面直角座標系番号・直角座標X・Y座標	図面ファイルが{0}の場合、「基準点緯度・経度」「基準点情報平面直角座標系番号・直角座標X・Y座標」のどちらかの組が全て入力されている必要があります。	図面ファイル名が"LC", "PL", "GV"で、「基準点緯度・経度」「基準点情報平面直角座標系番号・直角座標X・Y座標」のどちらかの組も入力されていませんので確認してください。
基準点緯度・経度　および基準点情報平面直角座標系番号・直角座標X・Y座標	必須項目「{0}」が入力されていません。	基準点情報の座標系番号が入力されていませんので確認してください。

5.3.12 PHOTO

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真ファイル名	写真ファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。	写真管理ファイル内に写真ファイル名の連番部分が重複したデータがありますので確認してください。
参考図ファイル名	参考図ファイル名の連番ルールに違反しています(ベースファイル名「{0}」が重複しています)。	写真管理ファイル内に参考図ファイル名の連番部分が重複したデータがありますので確認してください。
シリアル番号	「{0}」が重複しています。シリアル番号が命名規則（連番）に違反しています。	写真管理ファイル内にシリアル番号が重複していますので確認してください。
写真区分	「写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」の場合は、写真区分の記入が必須です。	「写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」の場合は「写真区分」に必ず入力してください。
工種	「写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「品質管理写真」又は「出来形管理写真」の場合は、工種の記入が必須です。	「写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「品質管理写真」又は「出来形管理写真」の場合は「工種」に必ず入力してください。
種別	「写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は、種別の記入が必須です。	写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は「種別」に必ず入力してください。
細別	「写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は、細別の記入が必須です。	「写真－大分類」が「工事」で、「提出頻度写真」が「1」で、「写真区分」が「出来形管理写真」の場合は「細別」に必ず入力してください。

(5.3.12 PHOTO) 続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真ファイル名	写真サブフォルダ「{0}」の中に PHOTO.XML に記述された写真ファイルがありません。	電子成果品の写真サブフォルダ（PIC）に写真ファイルがありませんので確認してください。
参考図ファイル名	参考図サブフォルダ「{0}」の中に PHOTO.XML に記述された参考図ファイルがありません。	電子成果品の参考図サブフォルダ（DRA）に参考図ファイルがありませんので確認してください。

5.3.13 REPORT

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
報告書ファイル名	報告書ファイル名の連番ルールに違反しています（ファイル名「{0}」が重複しています）。 ※{0}はファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の連番部分が重複していますので確認してください。
報告書オリジナルファイル名	報告書オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています(ファイル名「{0}」が重複しています）。 ※{0}はファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）	<報告書ファイル情報> - <報告書オリジナルファイル名>の連番部分が重複していますので確認してください。
報告書ファイル名	チェック対象 PDF ファイル「{0}」が見つかりませんでした。 ※{0}はチェック対象 PDF ファイル	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>のファイル名が実在しませんので確認してください。
報告書ファイル名	DLL がロード出来ませんでした。（dll_path={0}）	Windows を再起動しても同様のエラーになる場合は、PDF チェック用のライブラリ（DcPDFCk.dll）が壊れている可能性がありますので、電子納品物検査支援システムの再インストールをしてください。
報告書ファイル名	PDF 文書の読み込みに失敗しました。（リターンコード={0}）	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の PDF ファイルが壊れている可能性があります。対象のファイルを一度削除し、登録しなおしてください。
報告書ファイル名	報告書ファイルに「しおり」が設定されていません。	<報告書ファイル情報> - <報告書ファイル名>の PDF ファイルにしおりを設定してください。
報告書オリジナルファイル名	報告書オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、REPORT.XML に記述された報告書オリジナルファイルがありません。 ※{0}は報告書オリジナルファイルフォルダ名	<報告書ファイル情報> - <報告書オリジナルファイル情報> - <報告書オリジナルファイル名>が REPORT/ORG 直下に実在しませんので確認してください。

5.3.14 SURVEY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量区域番号	測量区域番号は「1」から始めて下さい	<場所情報> – <測量区域番号> の値は 「1」 から始まります。確認してください。
測量記録フォルダパス名 測量成果フォルダパス名	「{0}」で指定されている測量サブフォルダ名が命名規則に違反しています。測量成果電子納品要領（案）でご確認下さい。 ※{0}は<測量情報> – <測量区分> の値	<測量情報> – <測量記録フォルダパス名>、 <測量情報> – <測量成果フォルダパス名> または <測量情報> – <その他データフォルダパス名> が測量成果区分ファイルで規定された命名規約に沿っているか確認してください。
測量記録フォルダパス名 測量成果フォルダパス名	「{0}」で指定されている測量サブフォルダ名が命名規則に違反しています。（パスの先頭が SURVEY になっていません）	<測量情報> – <測量成果フォルダパス名> に記載された文字列を / で区切ったときの、 先頭の単語が SURVEY になっているか確認してください。
測量記録フォルダパス名 測量成果フォルダパス名	入力されている測量記録フォルダパス名が要領（案）に規定されている［測量区分］［成果区分］［測量細区分］ではありません。（「{0}/{1}/{2}」） ※{0}は対象パス名を/で区切った1単語目 ※{1}は対象パス名を/で区切った2単語目 ※{2}は対象パス名を/で区切った3単語目	<測量情報> – <測量成果フォルダパス名>は測量記録フォルダパス名を入力します。 測量成果電子納品要領（案）P.11以降を参照し、適切な「SURVEY/測量区分/成果区分/測量細区分」の書式で記入してください。
測量区域No	<場所情報>の<測量区域番号>の値と異なる値です。	<測量情報> – <測量区域No> の値が <場所情報> – <測量区域番号>に入力された値と同一か確認します。
測量区域番号	<場所情報>の<測量区域番号>がありません。	<場所情報>–<測量区域番号> の項目が入力されているか確認します。
等級　および　地図情報レベル	等級精度は「等級」か「地図情報レベル」のいずれかを記入して下さい。	<測量情報> – <等級精度> – <等級> または <測量情報> – <等級精度> – <地図情報レベル> の項目が入力されているか確認します。
等級精度	「{0}」は等級コード一覧「{1}」に定義されていないコードです。 ※{0}は等級コード ※{1}は等級コード一覧	<測量情報>–<等級精度>–<等級>の値が等級コード一覧に含まれているか確認します。

(1.3.14 SURVEY)続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
区域情報	西・東・北・南側境界座標経度又は平面直角座標系、西・東・北・南側境界平面直角座標が入力されていません。	〈場所情報〉－〈区域情報〉の値に、 西・東・北・南側境界座標経度又は平面直角座標系、西・東・北・南側境界平面直角座標を入力します。
西側境界平面直角座標 東側境界平面直角座標 北側境界平面直角座標 南側境界平面直角座標	必須項目が入力されていません。 →要領案の p30 「※2：緯度経度、又は平面直角座標のどちらか又は双方を記入する。」に対するチェックになります。	〈場所情報〉－〈区域情報〉直下の 〈平面直角座標系〉,〈西側境界平面直角座標〉,〈東側境界平面直角座標〉,〈北側境界平面直角座標〉,〈南側境界平面直角座標〉の値を入力します。
測量成果検定証明書等のファイル名	パスの指定が不正です。	〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉の値が空でないことを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	パス指定は「/」区切りで４単語である必要があります。	〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉の値は「/」区切りの４単語になります。
測量成果検定証明書等のファイル名	パス指定「/」区切りの１単語目は「SURVEY」である必要があります。	〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉のファイル名の１単語目は「SURVEY」になります。
測量成果検定証明書等のファイル名	パス指定「/」区切りの３単語目は「OTHRS」である必要があります。	〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉のファイル名の３単語目は「OTHRS」になります。
測量成果検定証明書等のファイル名	ファイル名が空です。	〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉のファイル名の４単語目が記入されていることを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	ファイルが実在していません。	〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉に記載されているファイルが実在していることを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	ファイル名の先頭５文字が「{0}」のいずれかである必要があります。	〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉に記載されているファイル名の先頭 5 文字が基準のルールに沿った記述になっていることを確認します。
測量成果検定証明書等のファイル名	測量成果検定証明書等のファイル名の連番ルールに違反しています（ファイル名「{0}」が重複しています）。	測量情報管理ファイル内で 〈検定情報〉－〈測量成果検定証明書等のファイル名〉のファイル名の連番部分が重複したデータでないことを確認します。

5.3.15 SURV_KTN,SURV_SJN,...

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名の連番ルールに違反しています。	測量成果管理ファイル内で測量成果ファイル名が重複したデータがないか確認します。（ファイル名の本体部分（拡張子を除いたファイル名）が重複している場合にエラーとなります）
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。	測量成果ファイル名が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。（SCHM,CODE で始まるファイル名の場合）
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の 1-3 桁（測量細区分）「{0}」が命名規則に違反しています。先頭が「{1}」のいずれかで始まる文字列を指定して下さい。	測量細区分が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の 1-3 桁（測量細区分）が命名規則に違反しています。先頭を「{1}」にして下さい。	測量成果ファイル名が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。（SCHM,CODE で始まるファイル名の場合）
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の 4-5 桁（成果種類）「{0}」が命名規則に違反しています。「{1}」のいずれかを指定して下さい。 （カンマ区切りの場合）	成果種類が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。 測量成果ファイル名の 4-5 桁（成果種類）「{0}」が命名規則に違反しています。「{1}」にして下さい。 （カンマ区切りでない場合）	成果種類が電子納品要領に記載されているルールに沿っているか確認します。
測量成果ファイル名	測量成果ファイル名が命名規則に違反しています。測量成果ファイル名の 6-8 桁「{0}」が命名規則に違反しています。	<測量成果情報>－<成果ファイル情報>－<測量成果ファイル名> の 6-8 桁目は 3 桁の数値で連番になります。
測量成果ファイル名	測量成果サブフォルダ「{0}」の中に、「{1}」に記述された測量成果ファイルがありません。 ※{0}は測量成果サブフォルダ名 ※{1}は測量成果ファイル名	電子成果品の測量成果サブフォルダに測量成果ファイルがあるか確認します。

（5.3.15 SURV_KTN,SURV_SJN,...）続き

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
測量成果区分フォルダ名	測量成果区分フォルダ名が DATA の場合、測量成果区分フォルダ名はブランク（空欄）であることが必要です。	測量成果区分フォルダ名が DATA の場合に測量成果区分フォルダ名が空欄でないことを確認します。
測量細区分フォルダ名	ブランク（空欄）にして下さい。 →要領案の表 2-2 を見ると、地形測量の場合、DATA にはサブフォルダありません。それをチェックしています。	〈測量成果情報〉－〈測量細区分フォルダ名〉に、 測量細区分フォルダ名の命名規則でブランクが指定されている場合、ブランクにします。
測量細区分フォルダ名	先頭が{0}のいずれかで始まる文字列を指定して下さい。 ※{0}は測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名（複数候補あり）	〈測量成果情報〉－〈測量細区分フォルダ名〉に、 測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名で始まる文字列（複数候補あり）であるか確認します。
測量細区分フォルダ名	先頭が{0}で始まる文字列を指定して下さい。 ※{0}は測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名（１個）	〈測量成果情報〉－〈測量細区分フォルダ名〉に、 測量細区分フォルダ名の命名規則で規定されたフォルダ名で始まる文字列（１個）であるか確認します。

5.3.16 BORING

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ボーリング交換用データファイル名	ボーリング交換用データフォルダ「DATA」の中に、BORING.XML に記述されたボーリング交換用データファイルがありません。	電子成果品のボーリング交換用データフォルダ（DATA）にボーリング交換用データファイルがあることを確認します。
電子柱状図ファイル名	電子柱状図フォルダ「LOG」の中に、BORING.XML に記述された電子柱状図ファイルがありません。	電子成果品の電子柱状図フォルダ（LOG）に電子柱状図ファイルがあることを確認します。
電子簡略柱状図ファイル名	電子簡略柱状図フォルダ「DRA」の中に、BORING.XML に記述された電子簡略柱状図ファイルがありません。	電子成果品の電子簡略柱状図フォルダ（DRA）に電子簡略柱状図ファイルがあることを確認します。
ボーリング連番	「{0}」が重複しています。ボーリング連番が命名規則（連番）に違反しています。	<ボーリング情報> - <ボーリング連番> の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。
ボーリング交換用データファイル名	「{0}」が重複しています。ボーリング交換用データファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	<ボーリング情報> - <ボーリング交換用データ> - <ボーリング交換用データファイル名>の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。
電子柱状図ファイル名	「{0}」が重複しています。電子柱状図ファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	<ボーリング情報> - <電子柱状図> - <電子柱状図ファイル名>の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。
電子簡略柱状図ファイル名	「{0}」が重複しています。電子簡略柱状図ファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	<ボーリング情報> - <電子簡略柱状図> - <電子簡略柱状図ファイル名>の値が地質情報管理ファイル内で重複していないことを確認します。

5.3.17 COREPIC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
写真ファイル名	写真ファイル名の連番ルールに違反しています（ファイル名「{0}」が重複しています）。 ※{0}はファイル名	コア写真管理ファイル内に<デジタルコア写真情報><写真ファイル名>の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
写真ファイル名	コア写真フォルダ「BORING/PIC」の中に COREPIC.XML に記述された写真ファイルがありません。	コア写真管理ファイルの<デジタルコア写真情報><写真ファイル名>に記載した写真ファイルがコア写真フォルダにあることを確認します。

5.3.18 GRNDTST

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
ボーリング交換用データファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述されたボーリング交換用データファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述されたボーリング交換用データファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
電子土質試験結果一覧表ファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述された電子土質試験結果一覧表ファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述された電子土質試験結果一覧表ファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
土質試験結果一覧表データファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述された土質試験結果一覧表データファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述された土質試験結果一覧表データファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
電子データシートファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述された電子データシートファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述された電子データシートファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
データシート交換用データファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述されたデータシート交換用データファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述されたデータシート交換用データファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
デジタル試料供試体写真ファイル名	「{0}」フォルダの中に、GRNDTST.XML に記述されたデジタル試料供試体写真ファイルがありません。	土質試験及び地盤調査管理ファイルに記述されたデジタル試料供試体写真ファイルが「{0}」フォルダにあることを確認します。
フォルダ名	「{0}」が重複しています。フォルダ名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にフォルダ名が重複したデータがないことを確認します。
ボーリング交換用データファイル名	「{0}」が重複しています。ボーリング交換用データファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にボーリング交換用データファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
電子土質試験結果一覧表ファイル名	「{0}」が重複しています。電子土質試験結果一覧表ファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内に電子土質試験結果一覧表ファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
土質試験結果一覧表データファイル名	「{0}」が重複しています。土質試験結果一覧表データファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内に土質試験結果一覧表データファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
電子データシートファイル名	「{0}」が重複しています。電子データシートファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内に電子データシートファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
データシート交換用データファイル名	「{0}」が重複しています。データシート交換用データファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にデータシート交換用データファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。
デジタル試料供試体写真ファイル名	「{0}」が重複しています。デジタル試料供試体写真ファイル名が命名規則（連番）に違反しています。	土質試験及び地盤調査管理ファイル内にデジタル試料供試体写真ファイル名の連番部分が重複したデータがないことを確認します。

5.3.19 FACILITY

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
設備図書オリジナルファイル名	設備図書オリジナルファイルフォルダ「{0}」の中に、設備図書管理ファイル（FACILITY.XML）に記述された設備図書オリジナルファイルがありません。	設備図書管理ファイルに記述された設備図書オリジナルファイルが電子成果品の設備図書オリジナルファイルフォルダにあることを確認します。

5.4 実在チェック

5.4.1 BORING

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING.XML ファイルが参照している DTD ファイル	DTD ファイル「{0}」が見つかりませんでした。 ※{0}は DTD ファイル名	BORING.XML ファイルが参照している DTD ファイルを確認します。(*1)
BORING.XML ファイルのヘッダ部	処理命令(?xml)の version が取得できませんでした。	BORING.XML ファイル中に処理命令タグの version 属性が正確に記載されいていることを確認します。(*1)
BORING.XML ファイルのヘッダ部	処理命令(?xml)の encoding が取得できませんでした。	BORING.XML ファイル中に処理命令タグの version 属性が正確に記載されいていることを確認します。(*1)
BORING.XML ファイルのヘッダ部	文書型宣言(DOCTYPE)のシステム識別子(SYSTEM)の DTD ファイル名が取得できませんでした。	BORING.XML ファイル中に処理命令タグの version 属性が正確に記載されいていることを確認します。(*1)
BORING.XML ファイル	XML ファイル「{0}」が見つかりませんでした。 ※{0} XML ファイル名	BORING.XML ファイルがあることを確認します。

*1)DTD,XML の出力例
http://www.cals-ed.go.jp/calsec/dtdxml.htm

5.4.2 BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn、BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に実在するファイルの内、 GR で始まるファイル	グラフイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。「GRNNMM.拡張子」(NN,MM はそれぞれ連番２桁）にして下さい。 ※{0}はグラフイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 GR で始まるファイルは 「GRNNMM.拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SK で始まるファイル	供試体スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。「SKLL.拡張子」(LL は連番２桁）にして下さい。 ※{0}は供試体スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SK で始まるファイルは 「SKLL.拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SS で始まるファイル	試験装置スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。「SSLL.拡張子」(LL は連番２桁）にして下さい。 ※{0}は試験装置スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SS で始まるファイルは 「SSLL.拡張子」の形式になります。

(5.4.2 BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn、BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn) 続き

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SR で始まるファイル	金属性リブスケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。「SRLL.拡張子」(LL は連番２桁) にして下さい。 ※{0}は金属性リブスケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SR で始まるファイルは 「SRLL.拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SJ で始まるファイル	試料状態スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。「SJLL.拡張子」(LL は連番２桁) にして下さい。 ※{0}は試料状態スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SJ で始まるファイルは 「SJLL.拡張子」の形式になります。
BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SH で始まるファイル	試験方法スケッチイメージファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。「SHKKJJ.拡張子」(KK,JJ はそれぞれ連番２桁) にして下さい。 ※{0}は試験方法スケッチイメージファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 SH で始まるファイルは 「SHKKJJ.拡張子」の形式になります。

（5.4.2 BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn、BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn）続き

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn 形式のフォルダ直下に実在するファイルの内、 Sで始まるJPGファイル	デジタル試料供試体写真ファイル名「{0}」が命名規則に違反しています。「SNNNMMMK.JPG」(NNN,MMMはそれぞれ連番３桁、Kは連番１桁）にして下さい。 ※{0}はデジタル試料供試体写真ファイル名	BORING/TEST/BRGnnnn/TSnnnnnn または BORING/TEST/SITnnnn/TSnnnnnn のフォルダ直下に実在するファイルの内、 Sで始まるJPGファイルは 「SNNNMMMK.JPG」の形式になります。

5.4.3 SURVEY DOC

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
SURVEY/DOC 直下に実在するファイル	ドキュメントファイル名（特記仕様書・協議書・実施報告書等）が命名規則に違反しています。「SPECSnnn.PDF」又は「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」(nnnは連番３桁）にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルが「SPECSnnn.PDF」又は「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。（H16用）
SURVEY/DOC 直下に実在するファイル	ドキュメントファイル名（特記仕様書・協議書・実施報告書・製品仕様書等）が命名規則に違反しています。「SPECSnnn.PDF」又は「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」又は「SPECPnnn.PDF」(nnnは連番３桁）にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルが「SPECSnnn.PDF」又は「MEETSnnn.PDF」又は「SUVRPnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。（H20用）
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECS で始まるファイル	特記仕様書のファイル名が命名規則に違反しています。「SPECSnnn.PDF」(nnnは連番３桁）にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECS で始まるファイルが「SPECSnnn.PDF」形式のファイルとなっていることを確認します。
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、MEETS で始まるファイル	協議書のファイル名が命名規則に違反しています。「MEETSnnn.PDF」(nnnは連番３桁）にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、MEETS で始まるファイルが「MEETSnnn.PDF」形式のファイルとなっていることを確認します。

（5.4.3 SURVEY DOC）続き

チェック対象	エラーメッセージ	エラーへの対応
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SUVRP で始まるファイル	実施報告書のファイル名が命名規則に違反しています。「SUVRPnnn.*」（nnn は連番３桁）にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SUVRP で始まるファイルが「SUVRPnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。
SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECP で始まるファイル	製品仕様書のファイル名が命名規則に違反しています。「SPECPnnn.PDF」（nnn は連番３桁）にして下さい。	SURVEY/DOC 直下に実在するファイルの内、SPECP で始まるファイルが「SPECPnnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。

5.4.4 SPEC

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
DRAWINGS/SPEC 直下に実在するファイル	特記仕様書オリジナルファイル名の命名規則に違反しています。「SPECnn.*」にして下さい。	DRAWINGS/SPEC 直下に実在するファイルが「SPECnn.*」形式のファイルとなっていることを確認します。
DRAWINGS/SPEC 直下に実在する複数ファイル	特記仕様書オリジナルファイル名の連番ルールに違反しています（ベースファイル名「{0}」が重複しています）。	DRAWINGS/SPEC 直下に実在する複数ファイルの中で、ベースファイル名（拡張子を除いたファイル名）が一致するファイルが他に存在しないことを確認します。

5.4.5 K_LDR

チェック対象タグ名	エラーメッセージ	エラーへの対応
DLI で始まる実在 XML ファイル	{0} は施設台帳ファイルの命名規則に違反しています。「DLInnn_m.XML」にして下さい。	DLI で始まる実在 XML ファイル（DLI*.XML）が「DLInnn_m.XML」形式のファイル名となっていることを確認します。
DLA で始まる実在 XML ファイル	{0} は機器台帳ファイルの命名規則に違反しています。「DLAnnn_m.XML」にして下さい。	DLA で始まる実在 XML ファイル（DLA*.XML）が「DLAnnn_m.XML」形式のファイル名となっていることを確認します。

5.5 その他の処理（エラー・警告・情報メッセージ）

メッセージ	メッセージの対応
電子納品フォルダを選択して下さい。	電子納品データが格納された、正しい電子納品フォルダ名を入力してください。
電子納品フォルダ指定が不正です。	電子納品フォルダ名が不正（ネットワーク上のフォルダを指定されている等）な場合はエラーとなります。 正しい電子納品フォルダ名を入力してください。
電子納品フォルダ名「{0}」は存在していません。 ※{0}は電子納品フォルダ名	電子納品データが格納されたフォルダ名が実在していることを確認してください。
電子納品コピー先フォルダを選択して下さい。	電子納品データのコピー先フォルダを正しく入力してください。
電子納品コピー先フォルダ名「{0}」は存在していません。 ※{0}は電子納品コピー先フォルダ名	電子納品データのコピー先フォルダが実在していない場合はエラーとなります。 正しい電子納品コピー先フォルダを入力してください。
電子納品コピー先フォルダ指定が不正です。	電子納品データのコピー先フォルダ指定が不正（ネットワーク上のフォルダを指定されている等）な場合はエラーとなります。正しい電子納品コピー先フォルダを入力してください。
電子納品フォルダを選択して下さい。	※「電子納品フォルダの選択」の参照ボタンを押下したときに表示される「フォルダの参照」を開いたときに表示されます。（上部表示される名称）
取り込み先フォルダを選択して下さい。	※「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」の参照ボタンを押下したときに表示される「フォルダーの参照」を開いたときに表示されます。（上部表示される名称）
システムを終了しますか？	※終了ボタンを押下した場合に表示されます。
「{0}」の下に、「{1}」 のデータが存在します。削除しますか？ {NewLine}[いいえ]を選択するとコピー先に存在するデータをチェック・閲覧対象とします。 ※{0}は取り込み先フォルダ名 （末尾に dc_temp が付加されたパス名） ※{1}は取り込み済みのインデックス ファイル中の〈工事名称〉又は〈業務名称〉 ※{NewLine}は改行コード	「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」を ON にした状態でかつ、取り込み先ディレクトリに既にデータが入っている場合に、 「閲覧画面表示」または「エラーチェック」ボタンを押下した時に表示されます。 過去に「電子納品コピー先フォルダ」にデータを取り込んでいる場合に表示されます。 過去に取り込んだデータを消して、新たにデータを取り込む場合は［はい］を選択します。 過去に取り込んだデータを使う場合は、［いいえ］を選択します。

(5.5 その他の処理（エラー・警告・情報メッセージ））続き

メッセージ	メッセージの対応
「{0}」の下に、既存データが存在します。削除しますか？ {NewLine}[いいえ]を選択するとコピー先に存在するデータをチェック・閲覧対象とします。 ※{0}は取り込み先フォルダ名 ※{NewLine}は改行コード	「ハードディスクに取り込んでから閲覧・チェック」をONにした状態でかつ、取り込み先ディレクトリに既にデータが入っている場合に、「閲覧画面表示」または「エラーチェック」ボタンを押下した時に表示されます。 ※取り込み済みデータがインデックスファイルなしの場合で、データ名称は取得できない場合 過去に「電子納品コピー先フォルダ」にデータを取り込んでいる場合に表示されます。 過去に取り込んだデータを消して、新たにデータを取り込む場合は［はい］を選択します。 過去に取り込んだデータを使う場合は、［いいえ］を選択します。
コピー処理を中断しました。	電子納品フォルダのコピー処理実行時に、「いいえ」ボタンによりコピー処理がキャンセルされた場合に表示されます。
{0}が既に存在します。削除しますか？ ※{0}はコピー先フォルダ名	電子納品フォルダのコピー先フォルダ削除実行時に表示されます。 ※コピー先フォルダにインデックスファイルが無い場合。 コピー先フォルダを削除したくない場合は、［いいえ］を選択します。 コピー先フォルダを削除しても問題ない場合は、 ［はい］を選択します。
コピー処理は実行されませんでした。	電子納品フォルダのコピー処理実行時に、「いいえ」ボタン押下またはコピー実行時例外によりコピー処理がキャンセルされた場合に表示されます。。
コピー処理がキャンセルされました。処理を中止します	コピー処理実行がキャンセルされた場合に表示されます。
予期しない例外が発生しました。処理を中止します	コピー実行時に予期しない例外が発生した場合に表示されます。 →どのような対応を実施する？
メディア総枚数が取得できませんでした。処理を中止します。	複数分割の電子納品取り込み実行時にメディア総枚数が取得できなかった場合に表示されます。 →どのような対応を実施する？
メディア番号が不正です。{0}枚目のメディアを指定して下さい。	複数分割の電子納品取り込み実行時に指定した番号が、メディアの（インデックスファイル中の）メディア番号と一致しなかった場合に表示されます。 →どのような対応を実施する？

(5.5 その他の処理（エラー・警告・情報メッセージ））続き

エラーメッセージ	エラーへの対応
{0}枚目のメディア（又はディレクトリ）を指定して下さい。{NewLine}{NewLine}[キャンセル]ボタンを押すと、コピー処理を中止します。 ※{0}はメディア番号 ※{NewLine}は改行コード	複数分割の電子納品取り込み実行時、2 枚目以降の電子納品物の場所指定時に表示されます。
複数分割されたメディアの総枚数を入力して下さい。	複数分割の電子納品取り込み実行時、メディアの総枚数入力を指定する場合に表示されます。。
指定されたメディア（又はディレクトリ）が存在しません。	複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディアの場所（CD-ROM ドライブ又はディレクトリ）が存在しなかった場合に表示されます。
指定されたメディア番号が不正です。1 以上の整数を入力して下さい。	複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディア番号が 1 以上の整数値になります。
処理がキャンセルされました。	複数分割の電子納品取り込み実行時にメディアの総枚数入力画面で処理をキャンセルした場合に表示されます。
工事番号「{0}」が不正です。期待される工事番号は「{1}」です。 ※{0}は工事番号（入力値） ※{1}は工事番号（期待値）	複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディアのインデックスファイルの工事番号が不正だった場合に表示されます。 同一の工事番号の電子納品物を読み込みしてください。
設計書コード「{0}」が不正です。期待される設計書コードは「{1}」です。 ※{0}は設計書コード（入力値） ※{1}は設計書コード（期待値）	複数分割の電子納品取り込み実行時に指定されたメディアのインデックスファイルの設計書コードが不正だった場合に表示されます。 同一の設計書コードの電子納品物を読み込みしてください。
CD-ROM メディアが準備出来ていません。	CD-ROM ドライブが準備できていなかった場合に表示されます。（CD-ROM ドライブがイジェクトされた状態等） CD-ROM が読み込み可能な状態にしてから再度実行してください。
電子納品要領（案）の種類とチェックフォルダを指定して下さい。	チェック・閲覧対象フォルダ指定画面を開こうとした際に、インデックスファイルが存在していなかった場合に表示されます。
フォルダ選択情報の特定に失敗しました。	インデックスファイル名称が不正（INDEX_C - コピー.xml 等）であった場合に表示されます。 インデックスファイル名を確認してください。
選択可能な INDEX ファイル、フォルダが１つもありません。	電子納品フォルダに中身が全て空のフォルダを指定された場合に表示されます。 電子納品フォルダを確認してください。
チェック対象フォルダが選択されていません。{NewLine}チェックを行いたいフォルダを選択して下さい。 ※{NewLine}は改行コード	チェック・閲覧対象フォルダ指定画面で対象フォルダが１つも選択されていなかった場合に表示されます。チェック・閲覧対象フォルダは最低でも１つ以上選択してください。
{0}ファイルが存在しないため、選択出来ません。 ※{0}は選択したファイル名称	チェック・閲覧対象フォルダ指定画面で(存在しないために) 選択できないファイル（背景色がグレーになっているノード)を選択しようとした時に表示されます。

(5.5 その他の処理（エラー・警告・情報メッセージ））続き

エラーメッセージ	エラーへの対応
{0}フォルダが存在しないため、選択出来ません。 ※{0}は選択したフォルダ名称	チェック・閲覧対象フォルダ指定画面で(存在しないために）選択できないフォルダ（背景色がグレーになっているノード)を選択しようとした時に表示されます。
{0}に出力時にエラーが発生しました ※{0}は出力先CSVファイル名	CSV ファイル出力時に、出力先ファイルが他のアプリケーションで開かれている場合等に表示されます。 他のアプリケーションを終了した後再度実行してください。
電子納品フォルダ直下に不正なINDEXファイル（ *.XML ） が 存 在 し て い ま す 。{NewLine}{NewLine} ※{NewLine}は改行コード	チェック・閲覧対象フォルダ指定画面用の設定ファイル中に、指定されたインデックスファイルが存在しなかった場合に表示されます。 正しいインデックスファイルのみ存在することを確認してください。
XMLファイル「{0}」が壊れています。 ※{0}はXMLファイル名	インデックスファイルが XML ファイルとして読み込めなかった場合に表示されます。 XML ファイルの内容が正しいか確認してください。
電子納品フォルダ直下に複数のINDEXファイル（ *.XML ） が 存 在 し て い ま す 。{NewLine}{NewLine}{0} ※{NewLine}は改行コード ※{0}は複数個のインデックスXMLファイル名	電子納品フォルダ直下に複数の INDEX ファイルが存在していた場合に表示されます。 正しいインデックスファイルのみ存在することを確認してください。
エラーはありませんでした。 （エラー結果画面および印刷プレビュー画面・印刷画面に出力）	エラーチェックによるエラーが１件も検出されなかった場合に表示されます。

《巻末資料》.NET Framework3.5 インストール手順

.NET Framework3.5 のダウンロード

Microsoft 社の「Download Center」サイトの以下の URL に接続し、「ダウンロード」をクリックして「dotNetFx35setup.exe」(2.7MB)をダウンロードします。

http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=21

.NET Framework3.5 のインストール

① ダウンロードしたセットアップファイル「dotNetFx35setup.exe」をダブルクリックし実行してください。

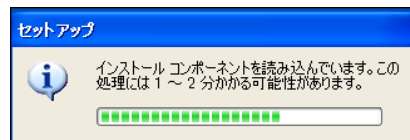



図 1　.NET Framework インストール(1)

② .NET Framework3.5 のセットアップが開始されますので、[同意する] にチェックし、[インストール>] ボタンをクリックします。

図 2　.NET Framework インストール(2)

③ ダウンロード後にインストールが実行されます(環境によってはかなり時間がかかります)。インストールが完了すると、下右図となりますので、[完了] ボタンをクリックします。

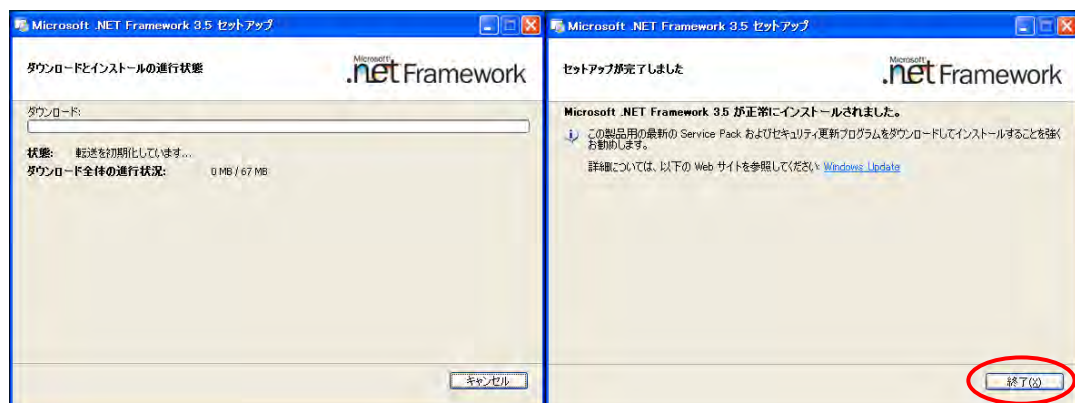



図 3　.NET Framework インストール(3)

★インストール後は、Windows Update を実行して、更新プログラムが提供されていた場合は適用してください。

電子納品物検査支援システム　バージョン4.0
システム操作説明書

2011年　3月　　　　　初版発行
2012年　1月　　　　　第二版発行
2012年　9月　　　　　第三版発行
2013年　3月　　　　　第四版発行

発　　行　　　国土交通省　国土技術政策総合研究所